



教科書ぴったりトレーニング

〈啓林館版・ブルースカイ1年〉

この解答集は取り外してお使いください。



解答集



Let's Start

p.6

びたトレ1 (①)

- 単語 ① art ② English
 ③ Japanese ④ math
 ⑤ music ⑥ P.E. ⑦ science
 ⑧ moral education
 ⑨ social studies
 ⑩ technology and home economics

p.7

びたトレ1 (②)

- 単語 ① hospital ② bank
 ③ supermarket ④ station
 ⑤ hotel ⑥ restaurant
 ⑦ bookstore ⑧ park
 ⑨ police station
 ⑩ fire station
 ⑪ post office
 ⑫ convenience store
 ⑬ flower shop
 ⑭ coffee shop ⑮ cake shop
 ⑯ department store
 ⑰ gas station
 ⑱ ice cream shop

p.8

びたトレ1 (③④)

アルファベット

- ① ABCDEFGHIJKLMN

② OPQRSTUVWXYZ

- 単語 ① apple ② bear ③ cat
 ④ dog ⑤ ink ⑥ jam ⑦ king
 ⑧ lion ⑨ queen ⑩ rabbit
 ⑪ sun ⑫ zoo ⑬ egg
 ⑭ frog ⑮ guitar ⑯ hat
 ⑰ map ⑱ octopus ⑲ pig
 ⑳ umbrella ㉑ violin
 ㉒ watch

p.9

びたトレ1 (⑤)

- 単語 ① fish ② box ③ key
 ④ tiger ⑤ table ⑥ drum
 ⑦ quiz ⑧ lemonade
 ⑨ gorilla ⑩ mango ⑪ nine
 ⑫ banana ⑬ lemon ⑭ color
 ⑮ mail ⑯ bag ⑰ pink
 ⑱ mug ⑲ hen ⑳ mop ㉑ pin
 ㉒ hot ㉓ cake ㉔ five
 ㉕ cute ㉖ home ㉗ six
 ㉘ cut ㉙ pet ㉚ pot

p.10

びたトレ1 (⑥)

- 単語 ① zero ② one ③ two
 ④ three ⑤ four ⑥ five
 ⑦ six ⑧ seven ⑨ eight
 ⑩ nine ⑪ ten ⑫ eleven

- ⑬ twelve ⑭ thirteen
 ⑮ twenty ⑯ thirty ⑰ first
 ⑱ second ⑲ third ⑳ fourth
 ㉑ twentieth ㉒ thirtieth
 ㉓ January ㉔ April ㉕ July
 ㉖ September
 ㉗ one hundred
 ㉘ one thousand

p.11

びたトレ 1 (7)

単語 ① sports festival

- ② school trip ③ field trip
 ④ swimming meet
 ⑤ graduation ceremony
 ⑥ baseball team
 ⑦ tennis team ⑧ judo club
 ⑨ dance club
 ⑩ science club
 ⑪ newspaper club
 ⑫ brass band ⑬ art club
 ⑭ basketball team
 ⑮ track and field team

Unit 1

pp.12~13

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)朝 (2)みんな (3)やあ (4)~から(の)
 (5) sing (6) good (7) swim
 (8) dance

1 (1)ア (2)イ (3)ア

2 (1) I'm (2) I am (3) I'm from

3 (1) I am Sato Akira(.)

(2) I'm from Australia(.)

(3) I'm good at English(.)

考え方

- 1 (1)「私は~です」と言うときは, amを使う。
 (2)「~出身」と言うときはfromを使う。
 (3)「~が得意である」はbe good at ~。
 2 (1)「私はサヤカです。」 (2)「私はタカシです。」 (3)I amはI'mと短縮する。「私はエジプト出身です。」
 3 (1)「私は~です」は, I am ~.。 (2)「私は~出身です」はI'm from ~.。 (3)「私は~が得意です」はI'm good at ~.

p.14

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)映画 (2)バレーボール
 (3) fan (4) member

1 (1) Are (2) Are you

考え方

- 1 「あなたは~ですか」とたずねるときは, Are you ~?を使う。(1)「あなたはゴルフファンですか。」 (2)「あなたはバドミントンファンですか。」

p.15

びたトレ 1 (文の書き方)

1 (1) February (2) Wednesday

(3) Chinese

2 (1) I'm from China.

(2) Are you from New York?

—No, I'm not.

(3) I'm good at singing.

考え方

- 1 月や曜日, 言語名のはじめは大文字で書く。
 2 文のはじめは大文字で書く。

pp.16~17

びたトレ 2

1 (1)ア (2)イ (3)イ

2 (1)ア (2)イ (3)ア

3 (1) I'm good at Chinese(.)

(2) Are you a member of the

baseball team(?)

- 4 (1) Good morning.
(2) I'm good at science.
(3) Are you a good singer?

- 5 (1) I'm not
(2) you're a soccer fan
(3) 私はサッカー部の一員です。

- 6 (1) Yes, I am.
(2) No, I'm not. I'm a member
of the handball team.

考え方

- 1 (1)「私は～です」と言うときは、amを使う。
(2)「あなたは～ですか」とたずねるときは、
Are you ~?を使う。(3)a member of ~
で「～の一員」。
- 2 (1)「～が得意である」はbe good at ~。
(2)「～出身」と言うときはfromを使う。(3)
Are you ~?とたずねられて肯定するときは、
Yes, I am.と答える。
- 3 (1)「～が得意である」はbe good at ~。(2)
「あなたは～ですか」とたずねるときは、Are
you ~?を使う。「～の一員」はa member
of ~。
- 4 (1)Good morning.は基本のあいさつなので
しっかりと覚えておく。(2)「～が得意で
ある」はbe good at ~。(3)「あなたは～で
すか」とたずねるときは、Are you ~?を使
う。
- 5 (1)Are you ~?とたずねられて否定する
ときは、No, I'm not.と答える。(2)「あなた
は～です」と言うときはyou're ~を使う。
(3)a member of ~で「～の一員」。

全訳

ベル先生：あなたはラグビーファンですか。
ソラ：いいえ、ちがいます。私はサッカーファンです。
ベル先生：あら、あなたはサッカーのファンです。あなたはよい選手ですか。
ソラ：はい、そうです。私はサッカー部の一員です。

6 (1)「あなたはニュージーランド出身ですか。」という質問。2文目で、「私はニュージーラ

ンド出身です。」と言っている。(2)「あなたはサッカー部の一員ですか。」という質問。最後の文で、「ハンドボール部の一員」と言っている。

全訳

やあ、私はデビッド・ブラウンです。私はニュージーランド出身です。私は数学が得意です。私はハンドボール部の一員です。

pp.18~19

びたトレ3

- 1 (1)○ (2)× (3)×
2 (1)ア (2)ア (3)ア
3 (1) from (2) are (3) I am
4 (1) I'm good at tennis(.)
(2) You are a volleyball fan(.)
(3) Are you a sports fan(?)
5 (1)ア (2)私はバスケットボール部の一員です。
(3) Are you
(4) I'm good at science.
6 (1) I'm a badminton fan.
(2) Are you a member of the
drama club?
(3) No, I'm not. I'm a member
of the volleyball team.

考え方

- 1 (1)「ファン」「ダンス」(2)「やあ」「泳ぐ」
(3)「2月」「中国語」
2 (2)日本語とは強く読む場所がちがうので、
注意する。(1)「朝」(2)「バレーボール」
(3)「みんな」
3 (1)「～出身」と言うときはfromを使う。
(2)「あなたは～です」と言うときはYou are
~.を使う。(3)Are you ~?とたずねられて
肯定するときは、Yes, I am.と答える。
4 (1)「～が得意である」はbe good at ~。
(2)「あなたは～です」はYou are ~.で表す。
(3)「あなたは～ですか」とたずねるときは、
Are you ~?で表す。
5 (1)「～出身」と言うときはfromを使う。
(2)a member of ~で「～の一員」。(3)ジェ
ーンはYes, I am.と答えているので、「あ

あなたは～ですか」Are you ～?とたずねているとわかる。(4)「～が得意である」はbe good at ～。

全訳

ケン：やあ、私はカワタ・ケンです。

ジェーン：やあ、私はジェーン・ホワイトです。
私はカナダ出身です。私はバスケットボール部の一員です。

ケン：うわー。あなたはよい選手ですか。

ジェーン：はい、そうです。

ケン：私は科学部の一員です。私は理科が得意です。

- 6 (1)「私は～です」と言うときは、I'm ～.を使う。(2)「あなたは～ですか」とたずねるときは、Are you ～?を使う。(3)Are you ～?とたずねられて否定するときは、No, I'm not.と答える。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- ()内の語数で書けている。(1点)
- (1)「私は～です」をI'm ～.と書けている。(3点) badminton fanの前にaを置けている。(2点)
- (2)「あなたは～ですか」とたずねるのに、Are you ～?を正しく使えている。(3点) 「～の一員」をa member of ～と書けている。(2点)
- (3)Are you ～?とたずねられて、No, I'm not.と答えられている。(2点) 「私は～です」をI'm[I am] ～.と書けている。(2点) 「～の一員」をa member of ～と書けている。(1点)

Unit 2

pp.20~21

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)かわいい (2)すばらしい、かっこいい
(3)めがね (4)本
(5) banana (6) notebook
(7) case (8) pencil

- 1 (1)ア (2)ア (3)イ

- 2 (1) Is (2) Is this

- (3) Is that, bus

- 3 (1) Is this a museum(?)

- (2) It is a zoo(.)

考え方

- 1 (1)「近くにあるものを指す(=「これ」)ときは、thisを使う。(2)「あれは～です」と言うときはThat is ～.を使う。(3)Is this[that] ～?とたずねられて肯定するときは、Yes, it is.と答える。
- 2 「これ[あれ]は～ですか」とたずねるときの語順は、Is this[that] ～?。近くにあるものを指すときはthis、離れたところにあるものを指すときはthatを使う。
(1)「あれはノートですか。」(2)「これは帽子ですか。」(3)「あれはバスですか。」
- 3 (1)「これは～ですか」とたずねるときの語順は、Is this ～?。(2)すでに話題に出てきたものは、itを使って説明する。この文の場合、it = this。

pp.22~23

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)本当に (2)～のための、～用の (3)道具
(4)昼食 (5)～と
(6) classroom (7) chocolate
(8) black (9) teacher
(10) animal

- 1 (1)イ (2)イ (3)イ

- 2 (1) What's that (2) It's a

- (3) What's this, It's an

- 3 (1) What is this(?)

- (2) It's a bed for the cat(.)

考え方

- 1 (1)「何ですか」とたずねるときは、whatを文のはじめに置く。What isはWhat'sと短縮することができる。(2)「～用の」と言うときはforを使う。(3)母音で始まる名詞の前には、aではなくanを使う。
- 2 「何ですか」とたずねるときは、whatを文のはじめに置く。近くにあるものを指すときはthis、離れたところにあるものを指すときはthatを使う。すでに話題に出てきたものは、itを使って説明する。
(1)「あれは何ですか。一えんびつです。」
(2)「あれは何ですか。一本屋です。」(3)「これは何ですか。一リンゴです。」

- 3 (1)「これは何ですか」とたずねるときは、
What is this?と言う。(2)「～用の」はfor
～で表す。

pp.24~25

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)兄弟 (2)祖父, おじいさん (3)～に会う
(4)すばらしい, うれしい
(5) mother (6) grandmother
(7) too (8) sister

- 1 (1)ア (2)イ (3)イ

- 2 (1) He's (2) That is, He's
(3) This is, She's my doctor

- 3 (1) He is my friend(.)
(2) Nice to meet you(.)

考え方

- 1 (1)heに対応するbe動詞はis。(2)he, she
はすでに話題に出てきた人を指すときに使
う。男性にはheを, 女性にはsheを使う。
(3)「(～も)また」はtoo。
2 「こちら[あちら]は～です」と人を紹介する
ときは, This[That] is ～.を使う。he, she
はすでに話題に出てきた人を指すときに使
う。男性にはheを, 女性にはsheを使う。
(1)「あちらはジュンです。彼は私の兄[弟]で
す。」(2)「あちらはマキタさんです。彼は私
の先生です。」(3)「こちらはノザキさんです。
彼女は私の医者です。」
3 (1)heはすでに話題に出てきた男性を指すと
きに使う。myは「私の」という意味で, 修飾
する名詞の前に置く。(2)「はじめまして。」
はNice to meet you.。

p.26

びたトレ 1 (Let's Talk 1)

Words & Phrases

- (1)どんなようで (2)しかし (3)今
(4) sleepy (5) time (6) sorry

- 1 (1) is it (2) What time, It's

- 2 (1) What time is it now(?)

- (2) It is 6:00 a.m. (in

Canada.)

考え方

- 1 「何時ですか。」と時間をたずねるときは、
What time is it?で表す。「～時です」と答
えるときは, It's ～.で表す。
(1)「ニューヨークは何時ですか。」「午前1時
です。」(2)「オタワは何時ですか。」「午後3
時です。」
2 (1)「何時ですか。」はWhat time is it?で表
す。(2)「～時です」はIt's ～.で表す。時間
を答えるときには, a.m.(午前)かp.m.(午
後)を数字の後ろにつける。

p.27

びたトレ 1 (Target のまとめ①)

- 1 (1)イ (2)ア (3)イ

考え方

- 1 (1)youに対応するbe動詞はare。(2)「～で
はありません」と言うときはbe動詞の後ろ
にnotを置く。(3)「～ですか」とたずねると
きは, be動詞を主語の前に出す。

pp.28~29

びたトレ 2

- 1 (1)ア (2)ア (3)イ

- 2 (1)ウ (2)ウ (3)イ

- 3 (1) What's[What is] that?
(2) It's[It is] a post office.
(3) This is Ms. Kawasaki.

- 4 (1) this is (2) He's (3) too

- 5 (1) What time is it now?

- (2)ア

考え方

- 1 (1)すでに話題に出てきたものは, itを使っ
て説明する。It isはIt'sと短縮することが
できる。(2)子音で始まる名詞の前には, a
を使う。(3)「～(の国)で」はinを使う。
2 (1)Is this[that] ～?とたずねられて否定す
るときは, No, it isn't.と答える。(2)he,
sheはすでに話題に出てきた人を指すとき
に使う。男性にはheを, 女性にはsheを使
う。He isはHe'sと短縮することができる。
(3)「私は～です」と自分の状態について言う
ときは, I'mを使う。
3 (1)「あれは何ですか。」とたずねるときは,
What is that?と言う。(2)すでに話題に出
てきたものは, itを使って説明する。「郵便

局]post officeは数えられる名詞なので、前にaを置く。(3)「こちらは～です」と人を紹介するときは、This is ～.を使う。

- 4 (1)「こちらは～です」と人を紹介するときは、This is ～.を使う。(2)すでに話題に出てきた男性を指すときは、heを使う。1語なので、He isの短縮形He'sとする。(3)「(～も)また」と言うときはtooを使う。

全訳

アオイ：エミリー、こちらはケントです。彼は私のいとこです。ケント、こちらはエミリーです。彼女は私の友だちです。彼女はアメリカ出身です。

エミリー：はじめまして、ケント。

ケント：こちらこそはじめまして、エミリー。

アオイ：エミリー、彼はよいダンサーです。ケント、彼女もダンスをするのが得意です。

- 5 (1)「今何時ですか。」はWhat time is it now?。(2)ビルは3回目の発言で、そば屋について、「それはすばらしいです。」とやっている。また、ナナミに今の時間が午後1時と聞いて、「昼食にはよい時間です。」とやっているの、昼食にそばを食べたいと考えている。

全訳

ビル：あれは何ですか。

ナナミ：そば屋です。

ビル：そばとは何ですか。

ナナミ：めんです。

ビル：うわー。それはすばらしいです。今何時ですか。

ナナミ：午後1時です。

ビル：昼食にはよい時間です。

pp.30~31

びたトレ3

1 (1)× (2)× (3)○

2 (1)イ (2)ア (3)イ

3 (1) really (2) my (3) for

4 (1) That isn't[is not] a
stadium.

(2) What is[What's] this?

(3) She is[She's] an artist.

5 (1) It's a tool for self-defense(.)

(2) What is that(?)

(3) What time is it now(?)

6 (1) She's (2)はじめまして

(3) Is this a guitar?

7 (1) How are you?

(2) Is this a computer?

(3) She's my cousin.

考え方

1 (1)「姉妹」「時間」(2)「母」「ノート」(3)「部屋」「道具」

2 (2)(3)日本語とは強く読む場所がちがうので、注意する。(1)「消しゴム」(2)「チョコレート」(3)「バナナ」

3 (1)「本当に」はreally。(2)「私の」はmy。(3)「～用の」と言うときはforを使う。

4 (1)「～ではありません」と言うときはbe動詞の後ろにnotを置く。(2)「何ですか」とたずねるときは、whatを文のはじめに置く。What isはWhat'sと短縮することができる。(3)sheに対応するbe動詞はis。

5 (1)「～用の」はfor～で表し、「自己防衛用の道具」はa tool for self-defenseとなる。(2)「あれは何ですか」とたずねるときは、whatを文のはじめに置いてWhat is that?とする。(3)「何時ですか。」はWhat time is it?で、「今」とつけ加える場合は最後にnowを置く。

6 (1)すでに話題に出てきた女性を指すときは、sheを使う。1語とあるので、She isの短縮形She'sとする。(2)Nice to meet youは「はじめまして」。(3)「これは～ですか」とたずねるときは、Is this ~?を使う。guitarは数えられる名詞なので、前にaを置く。

全訳

ユウスケ：エマ、こちらはユリナです。彼女は私の姉[妹]です。ユリナ、こちらはエマです。彼女は私の友だちです。

エマ：はじめまして、ユリナ。

ユリナ：こちらこそはじめまして、エマ。

エマ：これはギターですか。

ユリナ：いいえ、ちがいます。ベースギターです。私は軽音楽部の一員です。

エマ：うわー。それはカッコいいね。

- 7 (1)「お元気ですか。」とあいさつするときは、How are you?と言う。(2)近くにあるものを指すときはthisを使う。「～ですか」とたずねるときは、be動詞を主語の前に出す。(3)すでに話題に出てきた女性を指すときは、sheを使う。

英文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- ()内の語数で書いている。(1点)
- (1)How are you?と書いている。(5点) (2) be動詞isをはじめに置いている。(2点) thisを使っている。(2点) computerの前にaを置いている。(1点) (3)サエを指すのにsheを使っている。(3点) 「私の」をmyと書いている。(2点)

Unit 3

pp.32~33

びたトレ1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)～を去る (2)人気のある (3)行く
(4)起きる (5)私を～と呼んでください。
(6)name (7)study (8)very (9)dinner
(10)enjoy

- 1 (1)イ (2)イ (3)イ (4)ア
2 (1)study (2)I play (3)I eat, at
3 (1)My name is Aki.(.)
(2)I play the piano after (school.)
(3)Baseball is a popular sport in (Japan.)

考え方

- 1 (1)「～が好きです」はlike。(2)「私は～します」と言うときは、〈主語＋一般動詞＋目的語〉という語順にする。(3)「寝る」はgo to bed。(4)「あなたはどうですか。」はHow about you?。
2 「私は～します」と言うときは、〈主語＋一般動詞＋目的語〉という語順にする。
(1)「私は数学を勉強します。」(2)「私はサッカーをします。」(3)「～時に」という意味を表したいときは、atを使う。「私は7時に朝食を食べます。」
3 (1)「私の名前は～です。」はMy name is ～.で表す。(2)「私は～します」と言うときは、〈主語＋一般動詞＋目的語〉という語順にする。「(楽器)をひく」という意味でplayを使うときは、楽器名の前にtheを置く。

- (3)「人気のあるスポーツ」はa popular sport。popularはsportを修飾する形容詞なので、sportの前に置く。「日本で」はin Japan。

pp.34~35

びたトレ1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)夏 (2)冬 (3)タマネギ (4)食べ物
(5)tomato (6)have (7)milk (8)pet

- 1 (1)イ, エ (2)イ (3)ア
2 (1)Do (2)Do you (3)Do you have
3 (1)Do you watch TV after (dinner?)
(2)How about basketball(?)
(3)I don't ride bicycles.(.)

考え方

- 1 (1)「あなたは～しますか」はDoを文頭に置いて、〈Do you＋一般動詞～?〉という語順にする。また、Do you ～?とたずねられて肯定するときは、Yes, I do.と答える。(2)「私は～しません」と言うときはdoの後ろにnotを置く。don'tはdo notの短縮形。(3)「～を飼っている」はhaveを使う。
2 「あなたは～しますか」は〈Do you＋一般動詞～?〉で表す。
(1)「あなたはゴルフをしますか。」(2)「あなたはコーヒーを飲みますか。」(3)「あなたはネコを飼っていますか。」
3 (1)「あなたは～しますか。」はDoを文頭に置いて、〈Do you＋一般動詞～?〉という語順にする。「夕食のあと(に)」はafter dinner。(2)「～はどうですか。」はHow about ～?。(3)「私は～しません」と言うときは、一般動詞の前にdo notを置いて、I do not[don't]～.と言う。

pp.36~37

びたトレ1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)いっしょに (2)窓 (3)～を洗う
(4)～を脱ぐ
(5)make (6)open (7)here (8)rice

- 1 (1)ア (2)ア (3)イ
2 (1)Wash (2)Take off (3)Open, window
3 (1)Don't read a book (now.)
(2)Let's eat lunch (together.)
(3)I like spaghetti very (much.)

考え方

- 1 (1)「～しなさい」と言うときは動詞の原形で文を始める。(2)「～しないでください」と言

うときは〈Don't + 動詞の原形〉で文を始める。(3)「～しましょう」は〈Let's + 動詞の原形～〉で表す。

2 「～なさい」と言うときは動詞の原形で文を始める。

(1)「手を洗いなさい。」(2)「帽子を脱ぎなさい。」(3)「窓を開けなさい。」

3 (1)「～しないでください」と言うときは〈Don't + 動詞の原形〉で文を始める。(2)「～しましょう」は〈Let's + 動詞の原形～〉で表す。(3)動詞を修飾して、「とても」と言うときはvery muchを使う。

p.38

びたトレ 1 (Let's Talk 2)

Words & Phrases

(1)ピザ (2)すごいね!

(3)delicious (4)Really?

1 (1)much, too (2)How, Me, too

2 (1)You like ramen. Me, too.(.)

(2)Oh, I see.(.)

考え方

1 「私もです。」と相手に同意するときは、Me, too.を使う。

(1)「私は映画がとても好きです。」「私もです。」(2)「私はエミリーが好きです。あなたはどうですか。」「私もです。」

2 (1)「～します」と言うときは、〈主語 + 一般動詞 + 目的語〉という語順にする。「私もです。」はMe, too.で表す。(2)I see.「なるほど」は納得したときなどによく使うあいづちの表現。

p.39

びたトレ 1 (Target のまとめ②)

1 (1)get up (2)do not like (3)Do, ride

2 (1)Do you like basketball?

(2)I don't[do not] have a pet.

考え方

1 (1)「起きる」はget up。(2)一般動詞の否定文を作るときは動詞の前にdo not[don't]を置く。空所の数から短縮形ではなくdo notとする。(3)一般動詞の疑問文を作るときは、〈Do + 主語 + 動詞の原形～?〉。

2 (1)「あなたはバスケットボールが好きですか。」(2)「私はペットを飼っていません。」

pp.40~41

びたトレ 2

1 (1)ウ (2)ウ (3)ア (4)イ

2 (1)eat, fish (2)I leave, seven

(3)Do you play (4)Don't open

3 (1)コーラス用の歌を練習します

(2)あなたは夏は好きですか

(3)くつを脱ぎなさい

(4)部屋に入らないでください

4 (1)Do (2)私もそれが好きです。

(3)don't like

5 (1)It's a popular food in Singapore.

(2)No, he's not[he isn't]. (3)Yes, he is.

考え方

1 (1)()の前に主語、後ろに「卓球」が置かれているので、「私は卓球が好きです。」とするという意味が通る。(2)()の後ろにはabout youとあるのでHowを入れてHow about you?「あなたはどうですか。」とする。(3)文頭にはDoが置かれているので、()に入るのは一般動詞だと考える。「あなたは新聞を読みますか。」とすると自然な文となる。(4)Look at ~.は「～を見て」という意味。「あの犬を見て。」となる。

2 (1)「食べる」はeat, 「焼き魚」はgrilled fish。(2)「家を出る」はleave home。(3)「あなたは～しますか」は、〈Do you + 一般動詞～?〉という語順にする。「サッカーをする」はplay soccer。(4)「～しないで」と言うときは〈Don't + 動詞の原形〉で文を始める。

3 (1)practiceは「練習する」、songs for chorusは「コーラス用の歌」。(2)Do you like ~?は「あなたは～が好きですか」という意味。(3)動詞の原形で始まる文は、「～しなさい」という指示や命令の文となる。(4)〈Don't + 動詞の原形〉で始まる否定の命令文。

4 (1)一般動詞likeがあるので、〈Do you + 一般動詞～?〉という語順の一般動詞の疑問文にする。(2)tooは「(～も)また」。(3)一般動詞の否定文は動詞の前にdo not[don't]を置く。()の数から短縮形don'tを入れる。

全訳

ソラ：あなたは日本食が好きですか。

チェン：はい、好きです。私はラーメンが好きです。

ソラ：私もそれが好きです。納豆はどうですか。

チェン：あー。私は納豆が好きではありません。

5 (1)「チキンライスとは何ですか。」という質問なのでそれが何かわかる箇所を会話文から探す。チェンの最初の発言の3文目がその

説明に当たる。「それはシンガポールで人気の料理です。」(2)「ソラは料理が得意ですか。」という問い。good at ～は「～が得意である」。ソラの2つ目の発言「しかしぼくは料理が得意ではありません。」が答えとなる。ソラは男の子なので、heで答える。(3)「チェンは料理が得意ですか。」という問い。チェンの最後の発言の2文目に「ぼくは料理が得意です。」とあるので、Yesで答える。Isで問われているのでisで答える。

全訳

チェン：この写真を見てください。これはチキンライスです。それはシンガポールで人気の料理です。

ソラ：ああ、ぼくはチキンが大好きです。

チェン：いつかいっしょにそれを作りましょう。

ソラ：しかしぼくは料理が得意ではありません。

チェン：心配しないで。ぼくは料理が得意です。

pp.42~43

びたトレ3

- 1 (1)× (2)○ (3)○
- 2 (1)ア (2)イ (3)ア
- 3 (1)play tennis, school
(2)How about
(3)Go to bed
- 4 (1)I do my homework (after dinner.)
(2)Do you like chicken rice(?)
— Yes, I do(.)
(3)Don't talk on the phone in the art museum(.)
- 5 (1)I do (2)Look at this picture(.)
(3)about (4)私もです。
- 6 (1)Fasten your seat belt.
(2)Don't run in the classroom.
(3)I practice the guitar after school.

考え方

- 1 (1)「～について」「いところ」(2)「夏」「とても、たいへん」(3)「絵」「とり肉」
- 2 (1)最初の音節を強く読む。「窓」(2)2番目の音節を強く読む。「～を楽しむ」(3)最初の音節を強く読む。「教科書」
- 3 (1)「テニスをする」はplay tennis。(2)「あなたはどうですか。」はHow about you?
(3)「寝る」はgo to bed。命令文なので動詞の原形で文を始める。
- 4 (1)「～します」と言うときは、〈主語＋一般動詞＋目的語〉という語順にする。(2)「あなた

は～が好きですか」はDo you like ～?で表す。(3)語数が多い場合はひとかたまりずつ考えると文を作りやすい。Don't / talk on the phone / in the art museum。

- 5 (1)質問に対する答えの文であることがわかるので、直前のグレッグの発言を確認する。Do you like ～?で問うているので、doで答える。(2)()内に主語がないので、命令文であることがわかる。動詞の原形で文を始める。「この写真を見てください。」(3)()の前後にHowとyouがある。How about you?「あなたはどうですか。」とすると、続くグレッグの発言「私はネコがとても好きです。」につながる。(4)Me, too.は「私もです。」という意味。

全訳

グレッグ：動物が好きですか。

アヤ：はい、好きです。私は5匹のイヌを飼っています。

グレッグ：本当に？

アヤ：この写真を見てください。

グレッグ：うあ！5匹のイヌを飼っているんだね。

アヤ：あなたはどうですか？

グレッグ：ぼくはネコがとても好きです。

アヤ：私もです。

- 6 (1)「～をしめる」はfasten。(2)「～してはいけません」と言うときは〈Don't＋動詞の原形〉で文を始める。「教室で」はin the classroom。(3)「～を練習する」はpractice, 「放課後に」はafter school。guitarの前にtheを忘れずにおく。

Unit 4

pp.44~45

びたトレ1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)もう1つの (2)注意深く
(3)～といっしょに (4)教科
(5)face (6)blue (7)color (8)TV program
- 1 (1)ア (2)ア (3)ア
- 2 (1)What (2)What food (3)What, play
- 3 (1)What do you see on the table(?)
(2)What TV program do you watch(?)
(3)What do you eat for lunch(?)

1 (1)(2)「あなたは何を～しますか」はWhat do you ～?で表す。(3)「どんな[何の]～」とたずねるときは(What+名詞)を使う。

2 「あなたは何を～しますか」はWhat do you ～?で、「どんな[何の]～」は(What+名詞)で表す。

(1)「あなたは何を飲みますか。」(2)「あなたはどんな食べ物を食べますか。」(3)「あなたはどんなスポーツをしますか。」

3 (1)「あなたは何を～しますか」はWhat do you ～?で、「～の上に」はon～で表す。(2)「どんな～」は(What+名詞)で表す。TV program「テレビ番組」で1語と考え、「どんなテレビ番組を」をWhat TV programとする。(3)「あなたは何を～しますか」はWhat do you ～?で、「ランチで」はfor lunchで表す。

pp.46~47

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)奇妙な (2)上側 (3)ウシ
 (4)～がほしい (5)モモ
 (6)penguin (7)down (8)people (9)bird
 (10)lemon

1 (1)イ (2)ア (3)イ

2 (1)three boxes (2)see five birds
 (3)I see three peaches

3 (1)I have two brothers(.)
 (2)(That) is a strange picture of three dogs(.)

1 (1)threeに続く名詞は複数形。(2)aに続く名詞は単数形。(3)twoに続く名詞は複数形。watchの複数形はesをつけてwatches。

2 (1)「私は箱が3つ見えます。」とする。boxの複数形はesをつけてboxes。(2)「私は5羽の鳥が見えます。」とする。birdの複数形はbirds。(3)「私はモモが3つ見えます。」とする。peachの複数形はesをつけてpeaches。

3 (1)「(私には)～がいる」は「(私は)～を持っている」ということ。I have ～.で表す。(2)「奇妙な絵」をa strange pictureとする。picture「絵」が単数形であることに注意。

pp.48~49

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)いくつかの (2)ええと。(3)みやげ

- (4)キーホルダー (5)グラス (6)皿
 (7)family (8)these (9)they (10)beautiful
 (11)dictionary (12)handkerchief

1 (1)イ (2)イ (3)イ

2 (1)many peaches (2)How many boxes
 (3)eggs do you want

3 (1)How many animals do you see (in the picture?)
 (2)How many cousins do you have(?)
 (3)I don't have any cousins(.)

1 (1)How manyの後ろには名詞の複数形が続く。(2)anyの後ろには名詞の複数形が続く。(3)someの後ろには名詞の複数形が続く。

2 「あなたはいくつの～がほしいですか」は(How many+名詞の複数形)を使って表す。(1)「あなたはいくつのモモがほしいですか。」(2)「あなたはいくつの箱がほしいですか。」(3)「あなたはいくつの卵がほしいですか。」

3 (1)「いくつの…を～しますか」は(How many+名詞の複数形)を文のはじめに置き、一般動詞の疑問文の形を続ける。(2)「何人の…を～しますか」は(How many+名詞の複数形)を使って表す。(3)「～は1人もいない」はdon't have any～で表す。

pp.50~51

びたトレ 1 (Let's Talk 3)

Words & Phrases

- (1)ドレス (2)少しの間 (3)すばらしい
 (4)T-shirt (5)hundred (6)thousand

1 (1)ア (2)イ (3)ア

2 (1)much (2)It's (3)much are
 (4)2,500 (5)It's

3 (1)How much is this shirt(?)
 (2)It is ten thousand yen(.)
 (3)How much are these gloves(?)

1 (1)「それはいくらですか。」はHow much is it?。(2)たずねたいものが単数形の場合、How muchの後ろはisを置く。(3)めがねは1つでもglassesと複数形で表す(1つのめがねに2つのレンズがあるため)。たずねたいものが複数形の場合、How muchの後ろはareを置く。

2 (1)「～はいくらですか」はHow much～?の形で表す。(2)値段を答えるとき、単数のものの場合はIt's[It is]～.の形になる。(3)

「～はいくらですか」は主語が複数の場合、How muchの後ろはareを置く。(4)ズボンは1着でもpantsと複数形で表すので、ズボンについて「それは～円です」と答える場合はThey are[They're] ~ yen.の形になる。～に額が入る。(5) How much is it in total?という質問には、It's[It is] ~.の形で答える。

全訳

ハナ：すみません。このワンピースがほしいのですが。いくらですか。

店員：4,000円です。

ハナ：このズボンいいな。いくらですか。

店員：そちらは2,500円です。このキャップもいかがですか。

ハナ：はい、いいですね。合計でいくらですか。

店員：7,800円です。

- 3 (1)「～はいくらですか」は〈How much + be動詞 + 主語～?〉の語順。(2)「～円です」はIt's ~ yen.で表す。(3)「～はいくらですか」は主語が複数形の場合、How much are ~?となる。手袋はペアで使うものなので1そろいでもglovesと複数形になる。

p.52

びたトレ 1 (Target のまとめ③)

- 1 (1) Look at these birds.
(2) They are beautiful pictures.
(3) How many lemons do you have?

考え方

- 1 (1) birdを複数形にするということは前にあるthis「この」もthese「これらの」に変える必要がある。(2)主語のIt「それ」はpictureとイコールの関係なので、pictureを複数形にするということはItもThey「それら」に変える必要がある。be動詞も、主語を複数に変えたのでareに変える。(3)下線部のthreeをたずねるとことはレモンの数をたずねるとのこと。数をたずねるには〈How many + 名詞の複数形〉を使った疑問文を作る。

p.53

びたトレ 1 (Project 1)

- 1 (1) Call me (2) thirteen years old
(3) My favorite tennis player

考え方

- 1 (1)「私を～と呼んでください」はCall me ~.で表す。(2)「私は～歳です」はI'm[I am] ~ years old.で表す。(3)「私の好きな

～」はmy favorite ~。

pp.54~55

びたトレ 2

- 1 (1)イ (2)ア (3)イ (4)ア
2 (1)What subject, like
(2)have four watches
(3)at, postcard upside
(4)have three dictionaries
3 (1)2匹のイヌと1匹のネコを飼っています
(2)何枚の皿が必要ですか
(3)いくらですか
(4)あのケースの中に何を持っていますか
4 (1)あなたは絵はがきを何枚ほしいですか。
(2)Let me see (3)postcards
5 (1)I see a cow[penguin].
(2)Yes, I do. / No, I don't.

考え方

- 1 (1)lookはlook at ~の形で「～を見る」という意味。seeは「～が見える」。「私はあの絵にペンギンが見えます。」(2)aに続く名詞は単数形。「あなたはレモンがほしいですか。」(3)How manyの後ろには複数形の名詞がくるので、単数形のsportの前にHow manyは置けない。「あなたは何のスポーツをしますか。」(4)否定文でsomeは使わない。「私はペットを1匹も飼っていません。」
2 (1)「どんな[何の]～」は〈What + 名詞〉で表す。「科目」はsubject。(2)「腕時計」はwatch。複数形はwatchesとする。(3)「さかさまに」はupside down。(4)「辞書」はdictionary。複数形は、最後のyをiに変えてesをつける。
3 (1)haveには「～を飼う」の意味もある。(2)〈How many ~ + 疑問文〉は「～」の数をたずねるときに使う。(3)How much ~?は「いくらですか」と値段をたずねるときに使う。(4)in that caseは「あのケースの中に」。
4 (1)〈How many + 名詞の複数形〉を使った疑問文は「いくつの…を～しますか」という意味。(2)3語で表す「ええと」はLet me see.。(3)下線部①の問いHow many postcardsに対する答えなのでthreeはthree postcardsを表す。

全訳

チェン：絵はがきを何枚かほしいんだ。

アオイ：絵はがきは何枚ほしいの？

チェン：ええと…家族用に3枚ほしいな。アオイ、きみはいくつかおみやげほしいかい。

アオイ：ええ。私はこれらのキーホルダーがほしい。それらはきれいだよ。

5 (1)「あなたは何の動物が見えますか。」という質問。エミリーの発言からpenguinとcowが見える。(2)「あなたは2人の人の顔が見えますか。」という質問。Do you ~?とたずねられているので、見える場合はYes, I do., 見えない場合はNo, I do not[don't].と答える。

全訳

エミリー：これは奇妙なペンギンの絵だね。

ソラ：ぼくには絵の中に2匹の動物が見えるよ。その絵をさかさまに見て。

エミリー：あら、今はウシが見える。2人の人の顔も見える？

ソラ：いや、見えないな。

pp.56~57

びたトレ3

- (1)○ (2)○ (3)×
- (1)ア (2)ア (3)イ
- (1)have some pets
(2)How many dictionaries
(3)need ten dishes
- (1)What food do they like(?)
(2)What do you have in your pencil case(?)
(3)How many birds do you see (in this picture?)
- (1)What do you have in your bag(?)
(2)それらはどんな果物ですか。
(3)peaches
(4)How many oranges
- (1)Excuse me.
(2)Let me see.
(3)I don't have any brothers.

考え方

- (1)「顔」「奇妙な」(2)「これらの」「どうぞ」(3)「本」「テーブル」
- (1)最初の音節を強く読む。「科目」(2)最初の音節を強く読む。「番組」(3)2番目の音節を強く読む。「もう1つの」
- (1)肯定文で「何匹か(いくつか)」はsomeを使う。(2)dictionary「辞書」の複数形は

dictionaries。(3)dish「皿」の複数形はdishes。

- (1)「何の[どんな]…を~しますか」とたずねるときは、〈what + 名詞〉を文のはじめに置き、一般動詞の疑問文の形を続ける。(2)「(あなたは)何を~しますか」は〈What + 一般動詞の疑問文の形(do you ~?)〉の語順。(3)「いくつの…を~しますか」は〈How many + 名詞の複数形〉を使った疑問文で表す。
- (1)whatを文のはじめに置いて、一般動詞の疑問文の形do you ~を続ける。(2)〈what + 名詞〉は「何の[どんな]~」。theyは直前のmany fruitsを指す。(3)()の前に単数を表すaがないのでpeachは複数形にする。(4)下線部④に対するマイの答えがtwo orangesなので、ニックはオレンジの数をたずねているとわかる。

全訳

マイ：あなたはバッグの中に何を持っているの。

ニック：その中に果物をたくさん持っているよ。

マイ：それらはどんな果物ですか。

ニック：オレンジとモモだよ。いくつかほしいですか。

マイ：はい。オレンジがほしいです。

ニック：オレンジはいくつほしいですか。

マイ：2つオレンジがほしいです。

- (1)道をたずねたいときなど、知らない相手にはExcuse me「すみません。」と声をかける。(2)「ええと」などと会話をつなぐ3語のことばはLet me see.。(3)「~を1つ[1人]も持っていない」はdon't have any~。

英作文の採点ポイント

- (1)単語のつづりが正しい。(5点) ()内の語数で書けている。(2点) (2)単語のつづりが正しい。(5点) ()内の語数で書けている。(2点) (3)単語のつづりが正しい。(2点) ()内の語数で書けている。(1点) anyを使った否定文が正しく書けている。(4点)

Unit 5

pp.58~59

びたトレ1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)よく、上手に (2)速く (3)ドラム
- (4)ski (5)speak (6)Chinese

1 (1)ア (2)イ (3)ア

2 (1)can (2)can draw (3)Can, play, I can

3 (1)He can't speak Japanese.(.)

(2)I can see beautiful mountains from here.(.)

(3)Can Yuta ride a unicycle(?)

—Yes, he can.(.)

考え方

1 (1)「～することができる」は〈主語 + can + 動詞の原形～〉。(2)「～することができない」は〈主語 + cannot[can't] + 動詞の原形～〉。(3)「～することができますか」は〈Can + 主語 + 動詞の原形～?〉。

2 (1)「彼は英語を話すことができます。」(2)「ハナは絵を上手にかくことができます。」(3)Can ～?の疑問文には、canを使って答える。「あなたはテニスをすることができますか。—はい、できます。」

3 (1)「～することができない」は〈主語 + cannot[can't] + 動詞の原形～〉の語順。(2)「～することができる」は〈主語 + can + 動詞の原形～〉の語順。「ここから」はfrom here。(3)「～することができますか」は〈Can + 主語 + 動詞の原形～?〉の語順。rideは自転車やバイクなどまたがって乗る移動手段によく使われる。

pp.60~61

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

(1)おもしろい (2)おじ (3)チームメイト

(4)kind (5)aunt (6)trumpet

1 (1)イ (2)ア (3)イ

2 (1)Who is (2)Who's, She (3)Who are

3 (1)Who is this girl with you(?)

(2)Who's this funny man(?)

(3)Who are these boys(?) —They are my teammates.(.)

考え方

1 (1)「～はだれですか」は〈Who + be 動詞 + 主語?〉の形。(2)主語のthat boyは単数なのでbe動詞はisを使う。(3)答えるときには代名詞を使う。

2 「～はだれですか」は〈Who + be 動詞 + 主語?〉の形で表す。

(1)「この少年はだれですか。」(2)「この少女はだれですか。」—「彼女はミアです。」(3)「あの少女たちはだれですか。」

3 「～はだれですか」は〈Who + be 動詞 + 主語?〉で表す。(1)Whoの後ろは疑問文の語順を続ける。Who this girl isとしないように注意。(2)who'sはwho isの短縮形。(3)「この男の子たち」はthese boysと表す。

pp.62~63

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

(1)知る (2)学校で (3)ときどき

(4)cat (5)sister (6)cute

1 (1)イ (2)ア (3)イ

2 (1)it (2)her (3)him

3 (1)Can you see them(?)

(2) (I sometimes) see her in the park.(.)

(3) I watch them with my family.(.)

考え方

1 ()は動詞の目的語になっている。

(1)「彼女を」はher。(2)「彼を」はhim。(3)「彼らを」はthem。

2 (1)this bookを目的語として代名詞にするにはitを使う。(2)my auntは1人の女性なので、目的語として代名詞にするにはherを使う。(3)the manは1人の男性なので、目的語として代名詞にするにはhimを使う。

3 (1)「彼らを見る」はsee themで表す。(2)〈主語 + see + 目的語(だれを) + 修飾語(どこで)〉「～を…で見る」という文にする。(3)「～といっしょにそれらを見る」はwatch them with ～と表す。

pp.64~65

びたトレ 1 (Let's Talk 4)

Words & Phrases

(1)かさ (2)はい, どうぞ。(3)かばん

(4)Thanks. (5)pencil case (6)maybe

1 (1)ウ (2)ウ (3)イ

2 (1)is this, it's Aoi's (2)Whose, is, yours

(3)Whose shoes are, They're

3 (1)Whose bag is this(?)

(2)Whose sunglasses are these(?)

(3)Maybe it's Sora's.(.)

考え方

1 (1)「これはだれの～ですか」はWhose ～ is this?の形。(2)「あれはだれの～ですか」はWhose ～ is that?の形。(3)「私のもの」はmine。

2 持ち主をたずねるときは〈Whose + 名詞 +

be動詞+主語?)の形を使う。

(1)人の名に'sをつけて「~のもの」と持ち主を表すことができる。「これはだれのノートですか。」「たぶんそれはアオイのです。」(2)「これはだれのTシャツですか。」「それはあなたのです。それはあなたへのプレゼントです。」(3)くつはペアで使うものなので、くつを指して「これ」というときはtheseで表す。答えるときはtheyを主語にする。「これはだれのくつですか。」「それは彼女のものです。」Whose shoesと複数形にすること、be動詞がareになることに注意。

- 3 (1)(2)持ち主をたずねるときは(Whose + 名詞 + be動詞 + 主語?)の語順。(2)のサングラスは1つでもsunglassesと複数形で表す(1つのサングラスに2つのレンズがあるため)。サングラスを指して「これ」というときはtheseで表す。(3)Maybe「たぶん」を文のはじめに置く。「ソラのもの」は人の名に'sをつけて表す。

p.66

びたトレ1 (Target のまとめ④)

- 1 (1)can cook (2)cannot[can't] ski
(3)Can, dance, she can
- 2 (1)Can Ben play the guitar?
(2)Ann cannot[can't] take a picture here.

考え方

- 1 (1)「~することができる」は(主語 + can + 動詞の原形~)の形。(2)「~することができない」は(主語 + cannot[can't] + 動詞の原形~)の形。(3)「~することができますか」は(Can + 主語 + 動詞の原形~?)の形。Can she ~?の疑問文にyesで答えるときは、Yes, she can.となる。
- 2 (1)疑問文にするには(Can + 主語 + 動詞の原形~?)の形を使う。「ベンはギターをひくことができますか。」(2)否定文にするには(主語 + cannot[can't] + 動詞の原形~)の形を使う。「アンはここで写真をとることができません。」

p.67

びたトレ1 (Target のまとめ⑤)

- 1 (1)my, him (2)They, them
(3)Mary's
- 2 (1)I like its color(.)

考え方

- 1 (1)「私の」はmy。he「彼は」を目的語にする
とhimとなる。「こちらはケンです。彼は私

のいとこです。私はときどき彼に会います。」(2)主語の「彼らは」はthey。これを目的語にした「彼らを」はthem。「彼らは私のバレーボール部のメンバーです。あなたは彼らを知っていますか。」(3)人の名を使って「~のもの」と持ち主を表すときは、人の名に'sをつける。「これはだれのギターですか。」「メアリーのです。」

- 2 (1)「そのTシャツの色」を「その色」と略して表現していると考える。「それの色」はits colorと表す。

pp.68~69

びたトレ2

- 1 (1)イ (2)ア (3)イ (4)エ
- 2 (1)cannot[can't] swim fast, can run fast
(2)Can you (3)Who is
(4)know him, our teacher
- 3 (1)Who is[Who's] this girl?
(2)Can you dance well? —Yes, I can.
- 4 (1)her (2)彼女を学校で見ます
(3)like them
- 5 (1)No, she can't.
(2)Yes, I can. / No, I can't.

考え方

- 1 (1) ()の後ろに動詞doがあるので、助動詞canを入れるのが適切。「私は剣道をすることができます。」となる。(2)「部屋にいるあの男の子は~ですか」という文の「~」に入れるのに適切なのは「だれ」を表すWho。「部屋にいるあの男の子はだれですか。」(3) ()の前が動詞knowなので目的語となる語を選ぶ。イのher以外はすべて「~は」を表す代名詞であるため誤り。「あなたは彼女を知っていますか。」(4)andの前の部分から、()に入る語はtheyを「~を」の意味の目的語にしたthem。「彼らは私の友だちで私は彼らが好きです。」
- 2 (1)「~することができない」はcannot[can't]を使って、「~することができる」はcanを使って表す。(2)「~することができますか」という疑問文を作るときはCanを文頭に置く。(3)that manが主語なのでbe動詞はis。Who is ~?という疑問文を作る。(4)「彼を」はhim、「私たちの」はour。
- 3 (1)「~はだれですか」とたずねるときは(Who + be動詞 + 主語?)の形を使う。(2)「~することができますか」という疑問文は

〈Can + 主語 + 動詞の原形～?〉の形を使う。
Can you ~?の疑問文にyesで答えるときは、Yes, I can.となる。

- 4 (1)下線部①は動詞knowの目的語にあたる部分。目的語のherにする。(2)herは「彼女を」と訳す。(3)「～が大好きである」をlike ~ very muchと表す。「～」に入る「彼らが」に適するのは目的語となるthem。

全訳

エミリー：こちらは姉のリリーです。彼女を知っていますか。

アオイ：はい、知っています。私はときどき学校で彼女を見ます。

エミリー：そしてこれらが私たちのネコ、ペッパーとミントです。

アオイ：それらはとてもかわいいですね！

エミリー：ええ。私はそれらが大好きです。

- 5 (1)「アオイはギターをひくことができますか。」という質問。会話文でアオイは、I can't play the guitarと答えていることからギターをひくことができないとわかる。答えるときにはAoiの代名詞となるsheを使う。(2)「あなたは音楽を演奏できますか。」と問われているので、あなた自身のことを答える。あなたが音楽を演奏できる場合はYesで、できない場合はNoで答える。

全訳

アオイ：まあ、あなたはギターを持っているのですね。あなたはそれをひけますか。

エミリー：はい、ひけます。あなたはどうか、アオイ。

アオイ：私はギターはひけませんが、サクスを演奏できます。

エミリー：すばらしい。いっしょに音楽を演奏しましょう。

pp.70~71

びたトレ3

- 1 (1)○ (2)× (3)○
2 (1)イ (2)ア (3)イ
3 (1)cannot[can't] swim, skate
(2)Who are those
(3)two dogs, them
4 (1)Can you play volleyball(?)
(2)Who is this man(?) —He is my uncle.(.)
(3)Do you know her(?)
5 (1)Can
(2)I can't play it well

- (3)リサはだれですか。
(4)don't know her
(5)You can do anything well

- 6 (1)I can speak Chinese.
(2)Who is this woman?
(3)I know her.

考え方

- 1 (1)「話す」「季節」(2)「いす」「火」(3)「知っている」「ボート」
2 (1)2番目の音節を強く読む。「中国語」(2)最初の音節を強く読む。「トランペット」(3)2番目の音節を強く読む。「いっしょに」
3 (1)「～することができない」は〈主語 + cannot[can't] + 動詞の原形～〉の形。(2)「あの女の子たち」は複数なので、thatではなくthoseを使ってthose girlsとする。「～はだれですか」は〈Who + be動詞 + 主語?〉で表す。those girlsなのでbe動詞はare。(3)two dogsを指す「それら(を)」はthemで表す。
4 (1)「～することができますか」は〈Can + 主語 + 動詞の原形～?〉の語順。(2)「～はだれですか」は〈Who + be動詞 + 主語?〉の語順。「私のおじ」はmy uncle。(3)「～を知っていますか」はDo you know ~?で表す。「彼女を」はher。
5 (1)前のエイミーの発言から、itはサッカーを指すとわかる。また、下線部①の質問の答えとなる下線部②にcan'tがあることから、canで質問していることがわかる。(2) ()内に動詞の原形playとcan'tがあることから、「～することができない」の意味となる〈主語 + cannot[can't] + 動詞の原形～〉の形にする。文全体で「私はそれをうまくできないけれど、リサはそれがとても上手です。」という意味になる。(3)Who is ~?は「～はだれですか」という意味。(4)「私は～を知りません」は、I don't know ~.で表す。「彼女を」はher。(5) ()内にcanがあり、文の最後にクエスチョンマークはないので、〈主語 + can + 動詞の原形〉の形の文を作る。「あなたは何でも上手にできるのね。」という意味になる。

全訳

エイミー：私はサッカーが好きです。

ケヴィン：ぼくもです。サッカーできますか。

エイミー：私はそれをうまくできないけれど、リサはそれがとても得意です。

ケヴィン：リサってだれですか。彼女を知らないです。

エイミー：あ、ごめんなさい。彼女は私の姉[妹]です。

ケヴィン：本当ですか。ぼくもいい選手ですよ。

エイミー：わあ！ 何でも上手にできるんですね。

- 6 (1)「～を話すことができる」はcan speak ～。
(2)写真を見ながら、そこに写っている女性についてたずねていると考えることができる。4語でという指定があるので、〈Who + be動詞 + 主語?〉の形を使い「この女性はだれですか。」とすると条件に合う。(3)「～を知っています」はI know ～。「彼女を」はher。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- ()内の語数で書いている。(2点)
- (1)canを使った文が正しく書いている。(4点)
- (2)whoを使った文が正しく書いている。(2点)
- be動詞が正しく使えている。(2点)
- 代名詞を正しく使えている。(4点)

Unit 6

pp.72~73

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)サクランボ (2)週末 (3)ふつうは (4)早く
(5)果樹園
(6)grow (7)there (8)teach
(9)grandfather (10)go shopping

- 1 (1)イ (2)イ (3)ア
2 (1)likes singing (2)plays the guitar
(3)teaches math
3 (1)My sister gets up early(.)
(2)Ken runs very fast(.)
(3)I like this song very much(.)

考え方

- 1 (1)主語のmy friendは3人称単数なのでhasを選ぶ。(2)主語のMr. Chibaは3人称単数なので動詞washにesがつく。(3)主語のMakoto and Yumiは3人称だが、複数なので動詞にs(es)がつかない。
2 すべてIやyou以外で単数の主語なので、動詞にs(es)をつける。

(1)「エマは歌うことが好きです。」(2)「マサルはギターをひきます。」(3)「ブラウンさんは数学を教えています。」teachの3人称・単数・現在の形は、esをつけてteachesとする。

- 3 (1)「早く起きる」はgets up early。(2)「とても速く」very fastは動詞の後ろに置く。(3)「とても」very muchは目的語(=「この歌」this song)の後ろに置く。

pp.74~75

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)季節, 時期 (2)ごみ (3)いそがしい
(4)ひとりで (5)収穫
(6)set (7)out (8)walk (9)during
(10)take out

- 1 (1)ア (2)ア (3)イ
2 (1)Does Ryo eat
(2)Does Chloe live, she does
(3)Does your father watch, he doesn't
3 (1)Does she study alone(?)
(2)No, she doesn't(.)
(3)He is not busy during (the vacation.)

考え方

- 1 (1)主語が3人称単数でも、疑問文では動詞にsやesをつけない。(2)主語のMr. Satoは3人称単数なので、疑問文にはDoesを使う。(3)主語が3人称単数でも、疑問文では動詞にsやesをつけない。
2 主語がすべてIやyou以外で単数だが、疑問文なので動詞にs(es)はつけない。
(1)「リョウはピザを食べますか。」―「はい、食べます。」(2)Does ~?の疑問文に答えるときはdoesを使う。「クロエはアメリカに住んでいますか。」―「はい、住んでいます。」(3)「あなたのお父さんはテレビを見ますか。」―「いいえ、見ません。」
3 (1)alone「ひとりで」は動詞のあとに置く。(2)Does ~?の疑問文に答えるときはdoesを使う。(3)「休みの間中」はduring the vacation。

pp.76~77

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)卓球 (2)話す (3)～を手伝う (4)中国語
(5)小説
(6)other (7)art (8)someday (9)want to

(10) comic book

1 (1)ア (2)イ (3)ア

2 (1)doesn't play (2)doesn't want
(3)doesn't have a cat

3 (1)She doesn't speak Chinese(.)
(2)Ms. Tanaka doesn't teach music(.)
(3)I want to swim in the river(.)

考え方

1 (1)doesn'tのあとには動詞の原形がくる。
(2) ()のあとに一般動詞が続いているのでdoesn'tを使う。(3)doesn'tのあとには動詞の原形がくる。

2 主語がすべてIやyou以外で単数なので、否定文ではdoesn'tを使う。
(1)「サリーはバスケットボールをしません。」
(2)「ジョージはバッグをほしくありません。」
(3)「ミカはネコを飼っていません。」

3 (1)「中国語を話す」はspeak Chinese。「～しません」という否定文なので動詞の前にdoesn'tを置く。(2)「音楽を教える」はteach music。(3)「～したい」はwant to～で表す。「川で」はin the river。

p.78

びたトレ 1 (Let's Talk 5)

Words & Phrases

(1)ふく (2)～を切る

(3)vegetable (4)cooking

1 (1)clean the room (2)Sure

2 (1)Can you wash the dishes(?)
(2)Can you put your books away(?)

考え方

1 (1)Can you ～?は「～してくれますか」と相手に何かを依頼する表現。絵と□内の語句より、clean the room「部屋を掃除する」とする。(2)Sure.「いいですよ。もちろん。」は相手の依頼に応じるときに使う表現。

2 「～してくれますか」はCan you ～?で表す。
(1)「皿を洗う」はwash the dishes。(2)「本を片づける」はput your books away。

p.79

びたトレ 1 Target のまとめ⑥

1 (1)studies (2)Does, speak, does

考え方

1 (1)絵では女の子が勉強している。主語が3人称単数なのでstudyの語尾のyをiに変えてesをつける。「女の子は数学を勉強します。」(2)絵では男の子が外国人と話をしている。主語が3人称単数なので疑問文は

〈Does + 主語 + 動詞の原形～?〉の形。「マコトは英語を話しますか。」—「はい、話します。」

pp.80~81

びたトレ 2

1 (1)イ (2)ア (3)ア (4)ア

2 (1)イ (2)ア (3)ウ (4)エ

3 (1)He does not[doesn't] eat beef.
(2)Does your grandmother play table tennis?

4 (1)イ (2)Does he work alone?
(3)彼は私のおじとおばとっしょに働いています。

5 (1)No, he doesn't.
(2)He grows rice.

考え方

1 (1)主語が3人称単数の肯定文なので、動詞にはs(es)がつく。「彼は平日に学校に行きます。」(2)主語が3人称単数でも、疑問文では動詞にsやesをつけない。「リョウコは東京に住んでいますか。」(3)doesn'tのあとには動詞の原形がくる。「私の祖父はピアノをひきません。」(4)Can you ～?「～してくれますか」の文。「～」には動詞の原形が入る。「手伝ってもらえますか。」

2 (1)文末にvery much「とても」があるので、like ～ very much「～が大好きである」の形にする。主語が3人称単数なので、動詞likeにはsがつく。「私の兄[弟]はサッカーがとても好きです。」(2)go shoppingで「買い物に行く」。疑問文なので動詞は原形を使う。「彼女は家族とっしょに買い物に行きますか。」(3)get upで「起きる」。does notのあとの動詞は原形。「私の父は週末早く起きません。」(4)主語がyouの一般動詞を使った文。canを選びCan you ～?「～してくれますか」と依頼する文にする。「トマトを切ってもらえますか。」

3 (1)否定文にするには、動詞の前にdoes not[doesn't]を置いて動詞を原形にする。「彼は牛肉を食べません。」(2)疑問文にするには、文のはじめにDoesを置いて動詞を原形にする。「あなたのおばあさんは卓球をしますか。」—「はい、します。」

4 (1)「～の間(中)」はduring。(2)「彼は～しますか」は〈Does he + 動詞の原形～?〉の形を使う。「働く」はwork、「ひとりで」alone

は動詞のあとに置く。(3)withは「～といっしょに」、uncleとauntはそれぞれ「おじ」と「おば」という意味。

全訳

チェン：あなたのおじいさんは毎日働いていますか。

ソラ：はい、働いています。収穫期の間は彼はとてもしがしいです。

チェン：彼はひとりで働いているのですか。

ソラ：いいえ。彼は私のおじとおばといっしょに働いています。彼らはいっしょに住んでいます。

5 (1)「ソラは彼のおじいさんを手伝いますか。」という質問。エミリーの2つ目の質問Do you help your grandfather?に、ソラはNo, I don't.と答えている。Does ~?とたずねられているので、Soraを代名詞heに変え、doesを使って答える。(2)「ソラのおじいさんは何を育てていますか。」という質問。ソラの1つ目の発言にhe grows rice「彼は米を育てています」とある。

全訳

エミリー：あなたのおじいさんはほかの果物を育てていますか。

ソラ：いいえ。彼はほかの果物を育てていません。ですが彼は米を育てています。

エミリー：あなたはおじいさんの手伝いをしますか。

ソラ：いいえ、しません。ですがいつか彼とサクランボを育てたいです。

pp.82~83

びたトレ3

- 1 (1)○ (2)× (3)×
2 (1)ア (2)ア (3)イ
3 (1)Does (2)walks (3)Can, help
4 (1)Does (2)eats (3)Does, doesn't
5 (1)lives in London
(2)Does (3)ウ
(4)She teaches Japanese.
(5)すごいですね。
6 (1)My mother works in Tokyo.
(2)Does Yutaka play the trumpet?
(3)Mary doesn't speak Japanese.

考え方

- 1 (1)「週末」「～を教える」(2)「働く」「ウマ」
(3)「早く」「年」
2 (1)最初の音節を強く読む。「ふつうは、いつ

もは」(2)最初の音節を強く読む。「週末」
(3)2番目の音節を強く読む。「ひとりで」

- 3 (1)主語が3人称単数の一般動詞の疑問文なのでDoesを主語の前に置く。(2)「～へ歩いて行く」はwalk to～。主語が3人称単数なのでwalkにsをつけてwalksとする。(3)「～してくれますか」はCan you ~?の形を使う。「～を手伝う」はhelp。
4 (1)主語が3人称単数の一般動詞の疑問文なのでDoesを入れる。「あなたのおばあさんはチョコレートが好きですか。」「はい、好きです。」(2)下線部を含む文は、What does ~?への答えの文で主語が3人称単数。eatにsをつけてeatsとする。「ジョンはふだん何を食べますか。」「彼はふだんパンを食べます。」(3)主語が3人称単数の一般動詞の疑問文。Does ~?を使ってたずね、doesを使って答える。空所の数よりdoes notの短縮形doesn'tを使う。「あなたのお母さんは毎日料理しますか。」「いいえ、しません。」
5 (1)()内の語より、lives in ~「～に住む」とする。(2)主語が3人称単数の一般動詞の疑問文なのでDoesを入れる。(3)Does ~?の疑問文に答えるときはdoesを使う。(4)「～を教える」はteach。主語が3人称単数なのでesをつけてteachesとする。(5)That's great.は「すごいですね。」

全訳

ハナ：この写真を見てください。こちらは私のおばです。

ケイト：あら、すてきな写真ですね。これはロンドン塔ですか。

ハナ：はい、そうです。彼女はロンドンにひとりで住んでいます。

ケイト：彼女はそこで働いているんですか。

ハナ：はい、そうです。彼女は日本語を教えています。

ケイト：うわー！ すごいですね。

6 (1)「私の母は東京で働いています。」とする。「私の母」my motherは3人称単数なので、「働く」workにsをつけてworksとする。(2)「彼は～しますか」はDoes he ~?の形。「トランペットを演奏する」play the trumpetのtheを忘れないように注意。「ユタカはトランペットを演奏しますか。」(3)主語が3人称単数の否定

文は動詞の前に does not[doesn't]を置く。4語とあるので短縮形 doesn't を使う。「日本語を話す」は speak Japanese。「メアリーは日本語を話しません。」

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- ()内の語数で書けている。(2点)
- (1)動詞を主語に合った形にしている。(4点)
(2)Does ~?の形で書けている。(2点) 楽器名の前にtheを置いている。(2点) (3)<doesn't + 動詞の原形>の形で書けている。(4点)

Unit 7

pp.84~85

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)始まる (2)入浴 (3)(~を)練習する
(4)休日
(5)breakfast (6)homework (7)brush
(8)until

- 1** (1)ア (2)イ (3)ア
2 (1)When, play (2)When do, swim
(3)When does, get
3 (1)When do you brush your teeth(?)
(2)When does your father leave home(?)
(3)We have a two-month summer vacation(.)

考え方

- 1** (1)「いつ～しますか」とたずねる文は、Whenのあとに一般動詞の疑問文の語順を続ける。
(2)「いつ～しますか」とたずねる文。主語がyouなのでdoを使う。(3)「～はいつですか」とたずねる文は、Whenのあとにbe動詞の疑問文を続ける。
2 <When + 一般動詞の疑問文～?>の形を使い「～はいつ…しますか」とたずねる文を作る。
(1)主語Mikaは3人称単数だが、疑問文なので動詞にs(es)はつけない。「ミカはいつピアノをひきますか。」(2)「あなたはいつ泳ぎますか。」(3)主語が3人称単数なので、疑問文ではdoesを使う。「起きる」はget up。「あなたのお母さんはいつ起きますか。」
3 (1)「いつ～しますか」とたずねる文は、Whenを文頭に置き、一般動詞の疑問文の語順を続ける。「(あなたの)歯をみがく」はbrush

your teeth。(2)「家を出る」はleave home。(3)「2カ月(の)夏休み」は、「夏休み」summer vacationを修飾するtwo-month「2カ月の」をsummer vacationの前に置いてひとまとまりと考え、その前にaをつける。

pp.86~87

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)眠る (2)壁 (3)かぎ (4)~を置く
(5)sofa (6)student (7)under (8)find
1 (1)イ (2)ア (3)ア
2 (1)Where do
(2)Where does, study, studies
(3)Where does, talk, He talks
3 (1)Where does she have lunch(?)
(2)Where are Ken and Miho(?)
(3)I don't put my books on the desk(.)

考え方

- 1** (1)主語のyour catは単数なので、be動詞はisを使う。(2)「～はどこで…しますか」とたずねる文は、Whereのあとに一般動詞の疑問文の語順を続ける。(3)「～はどこですか」とたずねる文は、Whereのあとにbe動詞の疑問文の語順を続ける。
2 <Where + 一般動詞の疑問文～?>の形を使い「～はどこで…しますか」とたずねる文を作る。
(1)主語が複数なので疑問文ではdoを使う。「男の子たちはどこで野球をしますか。」—「彼らは公園で野球をします。」(2)主語が3人称単数なので疑問文ではdoesを使う。答えの文は、studyを3人称・単数・現在の形studiesとする。「ジェーンはどこで勉強しますか。」—「彼女は図書館で勉強します。」(3)答えの文は、Michaelを代名詞heに置きかえる。「マイケルはどこで電話で話しますか。」—「彼は彼の部屋で話します。」
3 (1)「～はどこで…しますか」とたずねる文は、Whereを文頭に置き、一般動詞の疑問文の語順を続ける。(2)「～はどこですか」は、Whereを文頭に置き、be動詞の疑問文を続ける。(3)「机の上に」はon the desk。

pp.88~89

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)自転車 (2)スパゲッティ (3)指

- (4)フォーク (5)来る
 (6)hometown (7)train (8)near (9)pick
 (10)free

1 (1)イ (2)ア (3)ア

2 (1)eats, with (2)goes, bus
 (3)eat, with forks

3 (1)How do you play the guitar(?)
 (2)Takeru eats sushi with his fingers(.)
 (3)Do you take this book to your school(?)

考え方

1 (1)「～はどうやって…しますか」と方法をたずねるときはHowのあとに一般動詞の疑問文を続ける。(2)「あなたはどうかやって～しますか」はHow do you ~?の形。(3)疑問文なので動詞は原形を使う。

2 (1)主語が3人称単数なので、動詞eatにsをつけてeatsとする。「(はしなどの道具)を使って」と言うときはwithを使う。「スミスさんはどうかやってラーメンを食べますか。」—「彼女はラーメンをはしを使って食べます。」(2)主語が3人称単数なので、goにesをつけてgoesとする。「テッドはどうかやって駅に行きますか。」—「彼はバスでそこに行きます。」(3)「(フォークやはしなどの道具)を使って」と言うときはwithを使う。「女の子たちはどうかやってスパゲッティを食べますか。」—「彼女らはスパゲッティをフォークを使って食べます。」

3 (1)「あなたはどうかやって～しますか」はHow do you ~?の語順。(2)「(彼の)指で」はwith his fingers。(3)「～を…に持っていく」はtake ~ to ...で表す。

p.90

びたトレ 1 (Let's Talk 6)

Words & Phrases

- (1)図書館 (2)～を見逃す
 (3)turn (4)street

1 (1)straight (2)left, bank (3)on your left

2 (1)Go straight down this street(.)
 (2)Turn right at the park.(.)

考え方

1 (1)下線部の前にはGoがあり、地図の位置から郵便局に行くにはまず道を直進する必要があることがわかる。straightを入れて「この通りを直進してください。」とする。(2)直進したあと郵便局に行くには銀行があ

る角を左に曲がるのが地図からわかる。「左に曲がる」はturn left。atの後ろにどこを曲がるかを入れれば文が完成する。「銀行を左に曲がってください。」(3)on your leftを入れて「それはあなたの左側にあります。」とする。

2 (1)道案内のときには命令形を使って簡潔に言う。(2)「～を曲がって」と言うときにも動詞から始める。「～を右に曲がってください」はTurn right at ~.

p.91

びたトレ 1 (Targetのまとめ⑦)

1 (1)What time do you go to bed(?)
 (2)When does your school begin(?)
 (3)How do you come here(?)

考え方

1 (1)What timeは、「何時に」と時間をたずねる表現なので文頭に置き、あとは疑問文の形を使う。(2)When「いつ」を文頭に置き、あとは疑問文の形を使う。(3)How「どのように」を文頭に置き、あとは疑問文の形を使う。

pp.92~93

びたトレ 2

- 1 (1)イ (2)ウ (3)イ (4)ア
 2 (1)do you (2)Turn, at
 (3)Go straight (4)How does, go
 3 (1)When[What time] does he usually get up?
 (2)Where do they put their bags?
 4 (1)ウ
 (2)They keep them in their lockers.
 (3)in the hallway
 5 (1)He goes to the library.
 (2)Go straight on this street. Turn left at the bank. It's on your right.

考え方

1 (1)whereを使ったbe動詞の疑問文。「あなたの学校はどこですか。」(2)begin「始まる」があるので、「その祭りはいつ始まりですか。」とするのが適切。(3)主語が3人称単数で動詞が文中にあるので、doesを選び「あなたのお父さんはどうかやって働きに行きますか。」とする。(4)「郵便局は右側にあります。」

2 (1)「いつ～しますか」は、Whenのあとに一般動詞の疑問文の語順を続ける。(2)「曲がる」はturn、「～のところで」はat。(3)

「まっすぐ行く」はgo straight。(4)「どのように」Howを文頭に置き、一般動詞の疑問文の語順を続ける。

- 3 (1)時をたずねるWhen「いつ」またはWhat time「何時に」を文頭に置き、一般動詞の疑問文の語順を続ける。動詞は原形になることに注意。「彼はふつういつ[何時に]起きますか。」(2)「彼らはバッグをどこに置きますか。」とする。Whereを文頭に置き、一般動詞の疑問文の語順を続ける。
- 4 (1)エミリーは「それらを彼らのロッカーにしまっておく」と場所を答えているので、「どこに」Whereを選ぶ。(2)「～をしまっておく」はkeep。「彼らのロッカーに」はin「～(の中)に」を使いin their lockersとする。(3)「廊下に」はin the hallwayと表す。

全訳

エミリー：アメリカでは生徒たちはふつう教科書を家に持ってきません。

ソラ：彼らはどこに教科書をしまっておきますか。

エミリー：彼らはそれらを自分たちのロッカーにしまっておきます。

ソラ：ロッカーはどこですか。

エミリー：それらは廊下にあります。

- 5 (1)「旅行者はどこに行きますか。」という質問。旅行者は1つ目の発言でWhere's the library?とたずねているので、図書館に行くとわかる。the travelerは代名詞に置きかえて答える。(2)「警察署までの道を教えてください。」という質問。地図の位置から警察署に行くにはまず道を直進する必要があることがわかるので、Go straight on this street.「この通りを直進してください。」とする。直進したあと警察署に行くには銀行がある角を左に曲がるのが地図からわかる。Turn left at the bank.「銀行を左に曲がってください。」とする。すると警察署は右側にあるので、It's on your right.「それはあなたの右側にあります。」とする。

全訳

旅行者：図書館はどこですか。

アオイ：それはここ近くのにあります。この通りを直進してください。公園を右に曲がってください。それはあなたの左側にあります。それを見逃すことはありませんよ。

旅行者：わかりました。なるほど。ありがとう。
アオイ：どういたしまして。

1 (1)× (2)× (3)○

2 (1)ア (2)ア (3)イ

3 (1)does, go (2)do, practice baseball
(3)How do you

4 (1)How (2)When (3)Where

5 (1)Where is your cat?
(2)She usually sleeps there (3)イ
(4)彼女はふつう夕食の前に起きます。

6 (1)How do you come[go] to school?
(2)Where do students play soccer?
(3)When does the winter vacation begin?

考え方

1 (1)「生徒」「教科」(2)「まっすぐに」「チョコレート」(3)「～をしまっておく」「話す」

2 (1)最初の音節を強く読む。「朝食」(2)最初の音節を強く読む。「カレンダー」(3)2番目の音節を強く読む。「休日」

3 (1)「いつ～しますか」は、Whenのあとに一般動詞の疑問文の語順を続ける。主語が3人称単数なのでdoesを使う。(2)「～はどこで…しますか」は、Whereのあとに一般動詞の疑問文の語順を続ける。(3)「(あなたは)どうやって～しますか」はHow do you ~?を使う。

4 (1)Bはby bus「バスで」と方法を答えているので、Howを入れて「どのように～」とたずねる文にする。「あなたのおばあさんはどうやって病院に行きますか。」「彼女はバスでそこに行きます。」(2)Bはat 12:30「12時30分に」と時を答えているので、When「いつ」を入れる。「あなたはいつ昼食を食べますか。」「私は12時30分に昼食を食べます。」(3)Bはin Nagoya「名古屋に」と場所を答えているので、Where「どこに」を入れる。「あなたはどこに住みたいですか。」「私は名古屋に住みたいです。」

5 (1)「～はどこですか」とたずねる文は、Whereのあとにbe動詞の疑問文の語順を続ける。マナはクロエにShe's in ~.と答えており、ネコは1匹であるとわかるのでWhere is ~?とする。(2)頻度を表すusually「ふつう」はふつう動詞の前に置く。(3)マナはbefore dinner「夕食前に」と時を答えているので、When「いつ」を選ぶ。(4)get upは「起きる」。

全訳

マナ：入ってください、これが私の部屋です。
クロエ：うわー、とてもかわいいですね！ あなたのネコはどこですか。

マナ：彼女は今居間にいます。彼女はふつうそこで眠ります。

クロエ：よかったです。彼女はいつ起きますか。

マナ：彼女はふつう夕食の前に起きます。

6 (1)How do you ~?の形を使い「あなたはどうかやって通学しますか。」とする。「通学する」はcome[go] to schoolと表す。(2)Where「どこで」を文頭に置き、一般動詞の疑問文の語順を続ける。「生徒たちはどこでサッカーをしますか。」(3)「いつ～しますか」は、whenのあとに一般動詞の疑問文の語順を続ける。「冬休み」はthe winter vacation。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- ()内の語数で書けている。(2点)
- (1)How do you ~?の形で書けている。(4点)
- (2)Where do ~?の形で書けている。(4点)
- (3)When does ~?の形で書けている。(4点)

Unit 8

pp.96~97

びたトレ1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)パン (2)スープ (3)お茶 (4)ヒーター
- (5)～を選ぶ
- (6)use (7)kind (8)cold (9)visit (10)salad

- 1 (1)イ (2)ア (3)イ
- 2 (1)drink (2)want to visit (3)do Sam and Ami eat
- 3 (1)Which do you like, udon or soba(?) (2)What kind of bag does she want(?) (3)Is it hot these days(?)

考え方

- 1 (1)牛肉と魚のどちらを食べるかをたずねているので、Whichを選ぶ。(2)「何の[どんな]～」とたずねるときは(What + 名詞)を使う。(3)どちらをするかをたずねているので、Whichを選ぶ。
- 2 Which ~, A or B?の形を使って「AとBのどちらが～ですか」とたずねる文を作る。

(1)「あなたはコーヒーとミルクのどちらを飲みますか。」(2)「マイクは日本とフランスのどちらを訪れたいですか。」(3)主語がSam and Amiと複数なので、doを使う。「サムとアミはタコ焼きとお好み焼きのどちらを食べますか。」

- 3 (1)「あなたはAとBのどちらが好きですか」とたずねる文は、Which do you like, A or B?の語順。(2)「どんな種類の…を～しますか」は(What kind of ... + 一般動詞の疑問文～?)の語順。(3)「近ごろ」these daysはふつう文末に置く。

pp.98~99

びたトレ1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)よく、たびたび (2)スペース、場所
- (3)電力 (4)小さい、狭い (5)わくわくさせる
- (6)contest (7)also (8)abroad (9)hard (10)sea

- 1 (1)ア (2)ア (3)イ
- 2 (1)do, beautiful (2)the dancer, Because, dances (3)does, study English, Because, wants to go
- 3 (1)Why does your father get up at six(?) (2)Because he runs before breakfast.(.) (3)Misaki often plays tennis with me.(.)

考え方

- 1 (1)「なぜ～」と理由をたずねるときはWhyを使う。(2)理由を述べるときはBecause「(なぜなら)～だから」で文を始める。(3)Whyを使った主語が3人称単数の疑問文。動詞にはsやesをつけない。
- 2 (Why + 疑問文～?)の形で理由をたずね、Because ~.で理由を述べる文を作る。(1)文中にlikeがあるので、一般動詞の疑問文にする。主語がyouなのでdoを使う。「あなたはなぜ花が好きなのですか。」—「なぜならそれらは美しいからです。」(2)答えの文の主語はheなので、danceにsをつけてdancesとする。「そのダンサーはなぜ人気があるのですか。」—「なぜなら彼はとても上手に踊るからです。」(3)「ミアはなぜ英語を勉強するのですか。」とする。Miaは3人称単数なので、doesを使った疑問文にする。答えの文は、動詞wantにsをつけてwants to ~とする。「なぜなら彼女は海外へ行き

たいからです。」

- 3 (1)「なぜ～しますか」は〈Why＋一般動詞の疑問文～?〉の語順。「6時に起きる」はget up at six。(2)「(なぜなら)～だから」Becauseを文頭に置いて、理由を述べる文を続ける。「朝食前」はbefore breakfastとして文末に置く。(3)頻度を表すoften「よく」はふつう動詞の前に置く。

pp.100~101

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)(値段が)高い (2)薄い (3)くつ
(4)sale (5)short (6)thick

- 1 (1)イ (2)イ (3)ア

- 2 (1)was long (2)was busy
(3)were soccer players before

- 3 (1)Was the book popular before(?)
(2)Can I help you(?)
(3)This shop has a big sale (now.)

考え方

- 1 (1)「以前～でした」と過去のことについて述べているので、isの過去形wasを使う。(2)「以前～でしたか」と過去のことについてたずねているのでWasを使う。(3)Was ～?にはwasを使って答える。
- 2 be動詞の過去形を使い「…は～でした」という文にする。
(1)主語のHer hairは単数なのでwasを使う。「彼女の髪の毛は以前長かったです。」(2)主語のMy fatherは単数なのでwasを使う。「私の父は以前いそがしかったです。」(3)主語のBob and Mikeは複数なのでwereを使う。soccer playerはsをつけてsoccer playersとする。「ボブとマイクは以前サッカーの選手でした。」
- 3 (1)「(…は)～でしたか」は〈be動詞の過去形＋主語～?〉の語順。時を表すbefore「以前に」は文末に置く。(2)「何かご用でしょうか。」はCan I help you?と表す。店員が来店した客にかける言葉。(3)「大特売中です」はhas a big sale。

pp.102~103

びたトレ 1 (Let's Talk 7)

Words & Phrases

- (1)ハンバーガー (2)フライドポテト
(3)アイスクリーム
(4)cola (5)cheeseburger (6)drink

- 1 (1)ア (2)イ (3)ア

- 2 (1)I have
(2)Can I have, For here

- 3 (1)Can I have two Burger Meals(?)
(2)Can I have French fries with a cola(?)
(3)That is nineteen dollars and fifty cents(.)

考え方

- 1 (1)「～をください」はCan I have ～?で表す。(2)ファーストフード店での注文時にはhaveのほかにgetもよく使われるが、選択肢にhave以外合うものはない。(3)注文時での定型文なので覚える。For here「店内で食べます」。

- 2 飲食店で注文するときの表現Can I have ～?「～をください」を使う。

(1)「こんにちは。いらっしやいませ。」「バーガーミールを1つください。」(2)For here.で「店内で食べます」という意味。「こんにちは。いらっしやいませ。」「ドーナツを2つください。」「こちらでお召し上がりですか、お持ち帰りですか?」「持ち帰りをお願いします。」

- 3 (1)「～をください」はCan I have ～?で表す。「～」の部分に「バーガーミールを2つ two Burger Mealsを入れる。(2)「フライドポテト」は文中でも大文字のFで始めてFrench friesとする。(3)「19ドル50セント」はnineteen dollars and fifty centsと表す。

p.104

びたトレ 1 (Target のまとめ⑧)

- 1 (1)were, are (2)was long, short
(3)wasn't, am

考え方

- 1 (1)文の前半、過去を表すbefore「以前は」があり主語が複数なので、be動詞の過去形wereを入れる。文の後半にはnow「今」があるので現在形areを入れる。(2)主語が単数なので、be動詞の過去形はwas。(3)be good at「～が得意である」という表現が使われ、主語はIなのでbe動詞の過去形はwas。空所の数からwas notの短縮形wasn'tを入れる。

p.105

びたトレ 1 (Project 2)

- 1 (1)Which, like (2)What, favorite
(3)When do

- 1 (1)「どの季節」はwhich seasonで表す。(2)「何」とたずねるWhatを文頭に置いた疑問文。「お気に入りの」はfavorite。(3)「いつ」とたずねるWhenを文頭に置いたあとは、一般動詞を含んだ疑問文にする。

pp.106~107

びたトレ2

- 1 (1)ウ (2)エ (3)ア (4)エ
 2 (1)Was, good (2)Which does
 (3)Can I have (4)was not
 3 (1)Were you at home yesterday?
 (2)I was good at science before.
 4 (1)I'd like a kotatsu (2)イ
 (3)But it's still expensive.
 5 (1)Because she can relax in it.
 (2)No, it doesn't.

- 1 (1)「あなたは赤と黄色のどちらが好きですか。」(2)「アリスはなぜ日本語を勉強しているのですか。」(3)空所のあとに肯定文が続いているので、Becauseを入れて理由を述べる文にする。「彼女は日本映画が好きだからです。」(4)「ジョージは以前テニスが得意ではありませんでしたが、今は得意です。」
 2 (1)「～でしたか」とたずねるbe動詞の過去の疑問文。the movieは単数なので、be動詞はwas。(2)「どちら」はwhich。主語が3人称単数なのでdoesを使う。(3)「～をください」はCan I have ～?で表す。(4)「～ではありませんでした」はbe動詞の過去の否定文。主語がyou以外で単数なのでwas notとする。
 3 (1)「あなたは昨日家にいましたか。」とする。areの過去形はwere。(2)「私は以前理科が得意でした。」とする。amの過去形はwas。
 4 (1)I'd like ～「～がほしい」はI want ～のていねいな言い方。(2)過去を表すlast week「先週」があり、主語が単数なのでwasが適切。(3)「でも」はbutで表す。4語でとあるのでit isの短縮形it'sを使い、「まだ」stillをbe動詞のあとに置く。「(値段が)高い」はexpensive。

全訳

ベル先生：あなたは英語を話しますか。
 店員：はい。何かご用でしょうか。
 ベル先生：こたつがほしいんです。

店員：承知しました。私たちは今大特売中です。
 このこたつは24,000円です！ それは先週30,000円でした。
 ベル先生：すごいですね！ でもそれはまだ高いです。

- 5 (1)「アオイはなぜこたつが好きなのですか。」という質問。ベル先生の質問Why do you like kotatsu?に、アオイはBecause I can relax in it.と答えている。この部分を、主語をsheに変えて答える。Why ～?とたずねられているので、Becauseで文を始めることに注意。「なぜなら彼女はその中でくつろげるからです。(2)「こたつはたくさんの電力を消費しますか。」という質問。アオイの最後の発言に... doesn't use a lot of powerとある。kotatsuをいに置きかえ、No, it doesn't.「いいえ、消費しません。」と答える。

全訳

ベル先生：あなたはなぜこたつが好きなのですか。
 アオイ：それに入っているとリラックスできるからです。私はこたつでよく眠ります。
 ベル先生：まあ、本当に。
 アオイ：せまい場所を温めて電力をたくさん消費しないので、こたつは環境に優しいものでもあります。
 ベル先生：それはすばらしい。

pp.108~109

びたトレ3

- 1 (1)○ (2)× (3)○
 2 (1)イ (2)ウ (3)イ
 3 (1)Why, go (2)They were not
 (3)Which does
 4 (1)Why (2)Were, wasn't
 (3)Which, teaches
 5 (1)ウ
 (2)I often read Mr. Brown's books.
 (3)Because they are very exciting
 (4)ア
 6 (1)Why do you like winter?
 (2)Which do you want to visit, Hokkaido or Okinawa?
 (3)It was cold today.

- ① (1)「手袋」「しかし」 (2)「スープ」「willの過去形」 (3)「すばらしい」「ケーキ」
- ② (1)2番目の音節を強く読む。「(値段が)高い」 (2)3番目の音節を強く読む。「～をすすめる」 (3)2番目の音節を強く読む。「わくわくさせる」
- ③ (1)「なぜ～」と理由をたずねるときはwhyを使う。「寝る」はgo to bed。 (2)「～ではありませんでした」はbe動詞の過去の文。主語が「彼らは」theyなので、be動詞はwere。 (3)「どちら」はwhich。主語が3人称単数なのでdoesを使う。
- ④ (1)BはBecause ～と答えているので、Why ～?でたずねているとわかる。「ジェイムズはなぜこの映画を見るのですか。」「なぜならそれは興味深いです。」 (2)last nightが文末にあるので過去の文にする。主語がyouなのでbe動詞はwere。Were you ～?の疑問文にはwasを使って答える。「あなたは昨夜家にいましたか。」「いいえ、いませんでした。」 (3)文末にmusic or mathとあるので、whichを入れるのが適切。答えの文は、主語が3人称単数なのでteachにesをつけてteachesとする。「ヤマダ先生は音楽と数学のどちらを教えてくださいますか。」「彼女は音楽を教えてくださいます。」
- ⑤ (1)「どちら」Whichが適切。 (2)頻度を表すoften「よく」はふつう動詞の前に置く。 (3)Becauseを文頭に置いて、理由を述べる文を続ける形にする。veryは形容詞excitingを修飾する副詞なので、excitingの前に置く。 (4)Do you ～?の疑問文にはdoを使って答える。

全訳

フミヤ：あなたはブラウンさんの本とスミスさんの本のどちらを読みますか。

キャシー：私はよくブラウンさんの本を読みます。

フミヤ：あなたはなぜ彼の本が好きなのですか。

キャシー：なぜならそれらはとてもわくわくさせるからです。あなたは彼の本を読みますか。

フミヤ：いいえ、読みません。しかし私は読書がとても好きです。

- ⑥ (1)「あなたはなぜ冬が好きなのですか。」とする。理由をたずねるときはWhy ～?で表

す。(2)「あなたはAとBのどちらを～しますか」とたずねるときは、〈Which do you + 動詞の原形 ～, A or B?〉の形を使う。「～したい」はwant to ～。(3)天候・時間などを表す文の主語はitを使う。「～でした」と過去について言う文なので、be動詞はisの過去形wasを使う。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- ()内の語数で書いている。(2点)
- (1)Why do you ～?の形で書いている。(4点)
- (2)Which do you ～, A or B?の形で書いている。(3点) 「～したい」をwant to ～を使って書いている。(1点) (3)It was ～.の形で書いている。(4点)

Unit 9

pp.110~111

ぴたトレ1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)従業員 (2)温泉 (3)かわいい
 (4)くつろがせる (5)滞在する
 (6)serve (7)listen
 (8)clean (9)interesting
 (10)arrive

- ① (1)イ (2)ア (3)イ
- ② (1)listened to (2)played baseball
 (3)practiced the, yesterday
- ③ (1)Jacob stayed at home during the weekend(.)
 (2)The girls played basketball after school(.)
 (3)My sister and I cooked breakfast today(.)

考え方

- ① (1)「昨日～しました」なので動詞は過去形。(2)「毎年～します」は現在の文。(3)「～しました」なので動詞は過去形。studyの過去形はstudied。
- ② 「～しました」と過去のことを述べる文にする。
 (1)listenにedをつける。「私は昨日音楽を聞きました。」 (2)playにedをつける。「ケンは昨日野球をしました。」 (3)practiceにdをつける。「私は昨日ピアノを練習しま

した。」

- 3 (1)「週末の間」はduring the weekendと表し文末に置く。(2)「放課後に」はafter school。(3)todayは時を表す語なのでふつう文末に置く。

pp.112~113

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)結婚している (2)あとで (3)パレード
(4)遊園地 (5)午後
(6)ate (7)saw (8)snow (9)buy
(10)birthday

1 (1)イ (2)イ (3)イ

2 (1)bought (2)had fun

(3)went, amusement park

- 3 (1)I made French fries with my mother last night.(.)
(2)My brother met a popular baseball player.(.)
(3)I read many books at the library last Sunday.(.)

考え方

1 (1)「昨夜～しました」なので動詞は過去形。「～を見る」seeは不規則動詞で過去形はsaw。(2)「毎朝～します」は現在の文。(3)「～しました」なので動詞は過去形。「～をする」doは不規則動詞で過去形はdid。

2 「～しました」と過去のことを述べる文にする。

(1)buyは不規則動詞で過去形はbought。「アリは先週末、本を買いました。」(2)haveは不規則動詞で過去形はhad。「ハンナは先週末、楽しみました。」(3)goは不規則動詞で過去形はwent。「私の友だちと私は先週末、遊園地に行きました。」

3 (1)時を表す語句last night「昨夜」は文末に置く。(2)「人気のある野球選手」はa popular baseball player。(3)「この前の日曜日に」はlast Sunday。

pp.114~115

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)新鮮な (2)シーフード
(3)テレビゲーム (4)カレー
(5)beautiful (6)station (7)museum
(8)century

1 (1)イ (2)イ (3)ア

2 (1)clean, room (2)Did, cook dinner
(3)Did, do their homework

- 3 (1)They didn't eat hamburgers at the restaurant.(.)
(2)Did you buy souvenirs for your family?(.)
(3)We had a field trip last month.(.)

考え方

1 (1)過去の疑問文は文頭にDidを置く。(2)過去の否定文は動詞の前にdidn't[did not]を置く。(3)過去の疑問文では動詞は原形になる。

2 「…は～しましたか」と過去のことをたずねる文は文頭にDidを置く。過去の疑問文では動詞は原形になる。

(1)「モモコは今日部屋を掃除しましたか。」
(2)「あなたのお父さんは今日夕食を料理しましたか。」(3)「彼らは昨夜宿題をしましたか。」

3 (1)過去の否定文は動詞の前にdidn'tを置く。(2)過去の疑問文は文頭にDidを置く。「家族に」はfor your family。(3)「遠足」はfield trip。

pp.116~117

びたトレ 1 (Read & Think)

Words & Phrases

- (1)センター (2)作業員 (3)大きい (4)それで
(5)apartment (6)Christmas
(7)cafe (8)tree

1 (1)ア (2)イ (3)イ

2 (1)took (2)visited (3)didn't eat

- 3 (1)They had a great time in New York.(.)
(2)We didn't cut down that large tree.(.)
(3)My father bought a Christmas cake at this shop.(.)

考え方

1 (1)～(3)日本語から過去についての話だとわかる。

(1)stay, (3)enjoyは規則動詞なので後ろにedをつけて過去形にする。(2)goは不規則動詞で過去形はwent。

2 (1)「写真をとる」はtake pictures。「写真をとりました」なのでtakeを過去形にする。(2)「～を訪れる」はvisit。「訪れました」なのでvisitを過去形にする。(3)「～しませんでした」はdidn't+動詞の原形で表す。

- 3 (1)「楽しく過ごす」はhave a great time.
 (2)「～ませんでした」は<didn't+動詞の原形>の語順。(3)「買う」buyの過去形はbought.

p.118

びたトレ 1 (Let's Talk 8)

Words & Phrases

- (1)誕生日おめでとう。(2)プレゼント
 (3)mug (4)mechanical pencil

- 1 (1)beautiful bird (2)wonderful
 (3)What a cute

- 2 (1)What a cool shirt(!)

考え方 1 <What a[an]+形容詞+名詞!>は「なんて～な…なのでしょう!」という意味で、<形容詞+名詞>を強調する。<How+形容詞[副詞]!>は「なんて～なのでしょう」という意味で、形容詞[副詞]を強調する。

(1)「あれを見て! なんてきれいな鳥なのでしょう!」(2)「わあ! なんてすばらしい!」(3)「あなたへのプレゼントよ、エミリー!」「ありがとう! なんてかわいいキーホルダーなのでしょう!」

- 2 (1)「なんて～な…なのでしょう!」は<What a[an]+形容詞+名詞!>の形を使う。

p.119

びたトレ 1 (Target のまとめ⑨)

- 1 (1)visited, last week
 (2)went to, last summer
 (3)studied math before dinner

考え方 1 (1)visitは規則動詞なのでedをつけ、時を表す語句last weekは文末に置く。(2)goは不規則動詞なのでwentとなり、時を表す語句last summerは文末に置く。(3)studyは規則動詞なのでyをiに変えてedをつけ、時を表す語句before dinnerは文末に置く。

pp.120~121

びたトレ 2

- 1 (1)ウ (2)エ (3)ア (4)イ
 2 (1)didn't buy (2)Did, do their
 (3)ate a lot of (4)Did, take pictures
 3 (1)I did not[didn't] meet my friend today.
 (2)My grandmother went to the park yesterday.
 4 (1)イ

- (2)I visited Rockefeller Center and saw
 (3)I also went to Times Square and took pictures.

- 5 (1)No, she didn't.
 (2)It's in Kanazawa.
 (3)No, she didn't.

考え方

1 (1)文末にlast yearがあるので、一般動詞の過去の疑問文にすればよいとわかる。「あなたのおじいさんは昨年サクランボを育てましたか。」(2)every year「毎年」とあるので、現在の文にする。「彼らは毎年日本に行きますか。」(3)文末にyesterdayがあることから、過去の文だとわかる。過去の否定文は、動詞の前にdidn't[did not]を置く。「私は昨日数学を勉強ませんでした。」(4)主語が3人称単数なので、現在の否定文にするにはdoesn't、過去の否定文にするにはdidn'tが入る。選択肢にあるのはdidn'tなので過去の否定文にする。「私の姉[妹]は今日あまり時間がありませんでした。」

2 (1)過去の否定文は動詞の前にdid not[didn't]を置く。空所の数より、短縮形didn'tが入る。(2)過去の疑問文は文頭にDidを置く。「(彼らの)宿題をする」はdo their homework。(3)eatは不規則動詞で過去形はate。「たくさんの～」は空所の数より、a lot of ～で表す。(4)「写真をとる」はtake pictures。

3 (1)過去の否定文にするには動詞の前にdid not[didn't]を置いて、動詞を原形にする。metの原形はmeet。「私は今日友だちに会いませんでした。」(2)every day「毎日」が「昨日」yesterdayになるので、過去の文にする。goの過去形はwent。「私の祖母は昨日公園に行きました。」

4 (1)空所の前後はそれぞれ「私の姉[妹]はそこに住んでいる」、「彼女のアパートに滞在した」という意味。so「それで、だから」を入れて、前の文が後ろの文の理由になるようにする。(2)Rockefeller Centerは場所なので、I visited Rockefeller Center「私はロックフェラーセンターを訪れた」とし、続けてand sawを置いてthe beautiful Christmas treeにつなげる。(3)「タイムズスクエアにも行き」は、also「～もまた」を使ってI also went to ～と表す。「写真をとる」はtake pictures。takeは不規則

動詞で過去形はtook。

全訳

私は12月にニューヨークに行きました。私の姉[妹]がそこに住んでいるので、彼女のアパートに滞在しました。私はロックフェラーセンターを訪れて美しいクリスマスツリーを見ました。—中略—私はタイムズスクエアにも行き、写真をとりました。私はそこの店で友だちにおみやげを買いました。

5 (1)「エミリーは金沢21世紀美術館を訪れましたか。」という質問。ソラの質問Did you visit the 21st Century Museum?に、エミリーはNo, we didn't.と答えている。この部分を、主語をsheに変えて答える。(2)「金沢21世紀美術館はどこにありますか。」という質問。エミリーの発言の3文目we enjoyed shopping at Kanazawa Stationや、ソラの2つ目の発言I want to go to Kanazawa.より、2人は金沢での出来事について話しているとわかる。主語のthe 21st Century Museumをitに置きかえ、It's in Kanazawa.「それは金沢にあります。」と答える。(3)「エミリーには時間がたくさんありましたか。」という質問。エミリーは発言の2文目でWe didn't have much time.「私たちはあまり時間がありませんでした。」と言っている。Did ~?と問われているので、didを使って答える。

全訳

ソラ：あなたたちは金沢21世紀美術館を訪れましたか。

エミリー：いいえ、訪れませんでした。私たちはあまり時間がありませんでした。でも私たちは金沢駅で買い物を楽しみました。それは美しい駅です。

ソラ：私は金沢に行きたいです。

pp.122~123

びたトレ3

- 1 (1)× (2)× (3)○
- 2 (1)ウ (2)イ (3)ア
- 3 (1)Did, do (2)didn't have much (3)What a cute
- 4 (1)What did (2)didn't, got up (3)Did, did, went
- 5 (1)I went to Nagano with my family. (2)イ (3)We went to a popular restaurant and

ate soba

(4)イ (5)ア

- 6 (1)Did you clean your room? (2)We played soccer in the park yesterday. (3)I went to a restaurant and ate sushi.

考え方

- 1 (1)「buyの過去形」「～について」(2)「eatの過去形」「くつろがせる」(3)「作業員」「姉妹」
- 2 (1)3番目の音節を強く読む。「みやげ」(2)2番目の音節を強く読む。「アパート」(3)最初の音節を強く読む。「美しい」
- 3 (1)過去の疑問文は文頭にDidを置く。「宿題をする」はdo your homework.過去の疑問文では動詞は原形になる。(2)過去の否定文は動詞の前にdidn'tを置く。「あまり～を持っていなかった」はmuch「多くの」を使って、didn't have much ~と表す。(3)「なんて～な…なのでしょう！」は(What a[an] + 形容詞 + 名詞!)の形。
- 4 (1)Bは「したこと」を具体的に答えているので、Aは「先週末に何をしましたか」をたずねているとわかる。Whatのあとに過去の疑問文の語順を続ける。「あなたは先週末何をしましたか。」「私は映画を見て、宿題をしました。」(2)Did you ~?にはdidを使って答える。今朝のことについて言うので、get up「起きる」のgetを過去形gotにする。「あなたは今朝早く起きましたか。」「いいえ、起きませんでした。私は9時に起きました。」(3)文末にlast nightがあることから、文頭にDidを置いて一般動詞の過去の疑問文にする。go「行く」の過去形はwent。「あなたは昨夜祭りに行きましたか。」「はい、行きました。私は友だちと一っしょにそこに行きました。」
- 5 (1)「行く」goの過去形はwent。「家族と」はwith「～と一っしょに」を使ってwith my familyとする。(2)ユウタの質問にジャックは「私たちは人気のあるレストランに行ってそばを食べました。」と答えている。したがって、ユウタは「食べ物」についてたずねたとわかる。(3)popular restaurantの前にaを置き忘れないように注意。(4)冬休みの間に訪れた長野についての会話なので、Didを選び過去の疑問文にするのが適切。(5)下線部⑤から、ジャックはユウタにみやげを買ってきていないことがわかる。

全訳

ユウタ：あなたは冬休みの間に何をしましたか。
 ジャック：私は家族と長野へ行きました。私たちは毎年そこでスキーを楽しみます。
 ユウタ：それはいいですね！ あなたは長野の食べ物も楽しみましたか。
 ジャック：ああ、はい！ 私たちは人気のあるレストランに行ってそばを食べました。
 ユウタ：では、あなたは長野でとても楽しい時を過ごしたんですね。私にみやげを買ってきてくれましたか。
 ジャック：ええと、この話があなたへのみやげです。

- 6 (1)「あなたは部屋を掃除しましたか。」とする。「あなたは～しましたか」はDid you ～?で表す。(2)「～をする」playの過去形はplayed。(3)「～を食べる」eatの過去形はate。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- ()内の語数で書けている。(2点)
- (1)Did you ～?の形で書けている。(4点) (2)一般動詞の過去形を使って「～しました」の形で書けている。(4点) (3)一般動詞の過去形を使って「～しました」の形で書けている。(4点)

Unit 10

pp.124~125

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)マンガ本 (2)向こうに (3)～を探す
 (4)～を買う (5)ジョギングする
 (6)paint (7)talk (8)water (9)badminton
 (10)walk

- 1 (1)イ (2)ア (3)ア
 2 (1)is making (2)is running
 (3)are talking, phone
 3 (1)I'm looking for my keys(.)
 (2)My brother is selling hot dogs(.)
 (3)Chen and Sora are reading comic books(.)

考え方

- 1 (1)「(今)～しています」は<be動詞+動詞のing形>の形で表す。(2)「毎日～します」は

現在の文。<主語+一般動詞+目的語>の形で表す。(3)likeは動作ではなく、「好きである」という状態を表す動詞。状態を表す動詞は現在進行形では表さない。

- 2 <be動詞+動詞のing形>の形を使い「(今)～しています」という文を作る。

(1)主語が3人称単数なので、be動詞はisを使う。make「～を作る」のing形はeをとってingをつける。「リカは今クッキーを作っています。」(2)主語が3人称単数なので、be動詞はisを使う。run「走る」のing形は最後のnを重ねてingをつける。「私の父は今公園を走っています。」(3)主語が複数なので、be動詞はareを使う。talkのing形はそのままingをつける。「私たちは今電話で話しています。」

- 3 「(今)～しています」は<be動詞+動詞のing形>の語順。(1)「～を探す」はlook for ～。(2)「ホットドッグを売る」はsell hot dogs。(3)主語が複数なので、be動詞がareになっている。

pp.126~127

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)レスリングする (2)～を売る
 (3)レモネード (4)ウサギ (5)カエル
 (6)old (7)people (8)wall (9)ball
 (10)sleep

- 1 (1)イ (2)ア (3)ア
 2 (1)Is, cooking, he is
 (2)Are, I'm not, am drinking
 (3)Is, No, he's not[he isn't], is sleeping
 3 (1)He is not taking a picture(.)
 (2)Is she studying with her friends(?)
 (3)He is not listening to music now(.)

考え方

1 (1)「～していますか」とたずねているので、現在進行形の疑問文。be動詞を主語の前に置く。(2)現在進行形の疑問文はbe動詞を主語の前に置く。(3)「現在進行中の動作」ではなく、日常的・習慣的に「何かスポーツをするか」をたずねているので、現在の文にする。

2 現在進行形の疑問文はbe動詞を主語の前に置き、答えるときもbe動詞を使う。

(1)主語が3人称単数なので、be動詞はisを使う。「彼はピザを料理していますか。」—

「はい、そうです。」(2)主語がyouなのでbe動詞はareを使う。「あなたはお茶を飲んでますか。」—「いいえ、ちがいます。私はレモネードを飲んでます。」(3)主語が3人称単数なので、be動詞はisを使う。「あなたのイヌはくつで遊んでますか。」—「いいえ、ちがいます。彼はソファの上で眠っています。」

- 3 (1)現在進行形の否定文はbe動詞のあとにnotを置く。(2)現在進行形の疑問文はbe動詞を主語の前に置く。(3)現在進行形の否定文はbe動詞のあとにnotを置く。「音楽を聞く」はlisten to music.

pp.128~129

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)シャワーを浴びる (2)ポーズをとる
(3)衣装 (4)世界中で (5)雑誌
(6)wear (7)anime (8)carry
(9)baby (10)men

- 1 (1)ア (2)イ (3)イ
2 (1)is, is buying (2)is, is eating
(3)Where, studying, They are studying
3 (1)What is this baby hamster eating(?)
(2)What are they doing over there(?)
(3)What is your brother looking for(?)

考え方

- 1 (1)(2)「(今)何を～していますか」とたずねているので、疑問詞Whatのあとに現在進行形の疑問文を続ける。(3)want to ~「～したい」は状態を表しているので現在進行形で表さない。
2 (1)主語が3人称単数なので、be動詞はisを使う。「女の子は何をしていますか。」—「彼女は本を買っています。」(2)「男の子は何をしていますか。」—「彼はリンゴを食べています。」(3)答えの文にat the library「図書館で」とあるので、「どこで」Whereを文頭に置き「モアナとエミリーはどこで勉強していますか。」とたずねる文にする。答えの文は、Moana and Emilyを代名詞theyに置きかえて「彼女らは図書館で勉強しています。」とする。
3 「何を～していますか」とたずねるときは、〈What + 現在進行形の疑問文～?〉の語順を使う。(1)「この赤ちゃんハムスター」はthis baby hamster。(2)「向こうで」はover

there。(3)「～を探す」はlook for～。

pp.130~131

びたトレ 1 (Read & Think)

Words & Phrases

- (1)若い (2)たとえば (3)(いちばん)好きな
(4)文化 (5)伝統的な (6)国
(7)today (8)interested (9)smile
(10)wonderful (11)bridge (12)between

- 1 (1)イ (2)ア (3)ア
2 (1)for example (2)are trying
(3)are watching
3 (1)She is interested in French food.(.)
(2)Music is a bridge between them and me.(.)
(3)How often did you help your mother (last week?)

考え方

- 1 (1)(2)「(今)～しています」(動作の進行)は〈be動詞 + 動詞のing形〉で表す。(3)「好きである」は動作ではなく状態を表している。つまり進行形では表さない。
2 (1)「たとえば」はfor example。(2)「～を試す」はtry。「試しています」なので現在進行形にする。(3)「(アニメなど)を見る」はwatch。「見えています」なので現在進行形にする。
3 (1)「～に興味がある」はbe interested in～。(2)「AとBの間に」はbetween A and B。(3)「何回くらい～ですか」はHow often～?。

pp.132~133

びたトレ 1 (Let's Talk 9)

Words & Phrases

- (1)もちろん (2)いそがしい (3)来る
(4)homework (5)house (6)Speaking.

- 1 (1)ア (2)イ (3)ア
2 (1)speak, help (2)busy
3 (1)May I speak to Chen(, please?)
(2)Can you come to the library at four(?)
(3)Can you help me with my English homework(?)

考え方

- 1 (1)電話で自分の名前を名乗るときは、This is～。「～です」を使う。(2)電話で話したい相手をお願いしたいときには、May I speak to～, please?「～をお願いします」を使う。

(3)「どうしたの?」はWhat's up?.

2 (1)「～をお願いします」はMay I speak to ~, please?。「～の…を手伝う」はhelp ~ with ...で表す。「もしもし。ヒロですが。リサをお願いします。」「私です。こんにちは、ヒロ! どうしたの?」「数学の宿題を手伝ってくれますか。」「いいですよ。」(2)ケンの様子から、「いそがしい」busyが適切。「こんにちは、ヒロ! どうしたの?」「サッカーしない?」「ごめんね、今はいそがしいんだけど、3時以降なら行けるよ。」「わかった。」

3 (1)「～をお願いします」はMay I speak to ~, please?。(2)「～してくれますか」Can you ~?を使って表す。(3)「～の…を手伝う」はhelp ~ with ...で表す。

p.134 びたトレ 1 (Target のまとめ⑩)

- 1 (1)is making (2)is teaching
(3)are swimming

考え方

1 (1)主語がSheなので、be動詞はisとなり、makeは最後のeをとってingをつける。(2)be動詞isのうしろは動詞teachのing形となる。(3)主語がtheyなので、be動詞はareとなり、動詞swimはmを重ねてingをつける。

p.135 びたトレ 1 (Project 3)

- 1 (1)went, this morning
(2)had, yesterday
(3)ate, today

考え方

1 (1)go「行く」の過去形はwentとなり、文末には時を表す語句this morning「今朝」を置く。(2)have a good dayで「楽しい1日を過ごす」という意味。文末には時を表す語句yesterday「昨日」を置く。(3)eat「食べる」の過去形はateとなり、文末には時を表す語句today「今日」を置く。

pp.136~137 びたトレ 2

- 1 (1)ウ (2)ウ (3)イ (4)エ
2 (1)Is, wearing (2)are, making[cooking]
(3)is sleeping (4)had, great[good]
3 (1)They are not[aren't] watching TV now.
(2)What are you studying?

- 4 (1)they aren't
(2)They are wrestling.
(3)Are these frogs laughing
5 (1)She is wearing a costume from "Sailor Moon."
(2)Yes, they are.

考え方

1 (1)「毎朝学校に通っている」は「現在進行中の動作」ではないので現在形で表す。「ティミーと私は毎朝いっしょに学校に通っています。」(2)Is he ~とあるので、動詞のing形を選び現在進行形にする。「彼は電話で話していますか。」(3)文中にdoのing形doingがあるので、be動詞を選んでWhat + 現在進行形の疑問文~?の形にする。「あなたは今何をしていますか。」(4)文末にevery day「毎日」があるので、現在形を使って日常的・習慣的に「歩く」という文にする。主語が3人称単数なので、3人称単数・現在のsがついたwalksを選ぶ。「その男の子は毎日公園を歩き回ります。」

2 (1)「～していますか」なので現在進行形の疑問文にする。「～をかぶっている」はwearで表す。動詞wearは「着ている」「はいている」など「身につけている」ことを幅広く表すことができる。(2)「何を～していますか」はWhat + 現在進行形の疑問文~?の形。(3)「(今)～しています」はbe動詞 + 動詞のing形で表す。「眠る」はsleep。(4)「楽しい時間を過ごす」はhave a great[good] time. haveの過去形はhad。

3 (1)否定文にするにはbe動詞のあとにnotを置く。「彼らは今テレビを見ていません。」(2)「あなたは何を勉強していますか。」とする。Whatを文頭に置き、現在進行形の疑問文の語順を続ける。

4 (1)現在進行形の疑問文に答えるときはbe動詞を使う。空所の数よりare notの短縮形aren'tとする。(2)「～しています」はbe動詞 + 動詞のing形で表す。「すもうをとる」wrestleのing形はeをとってingをつける。(3)()内にlaughのing形laughingがあるので、現在進行形の疑問文にする。ここのtheseは「これらの」という意味の形容詞。

全訳

アオイ：この古い絵を見てください。
チェン：ウサギと何匹かのカエルが見えます。
彼らは踊っているのですか。

アオイ：いいえ、ちがいます。彼らはすもうをとっているのです。

チェン：なるほど。これらのカエルは笑っているのですか。

アオイ：はい、そうです。

チェン：それらはとてもおもしろいです。

5 (1)「女性は何を着ていますか。」という質問。アオイの2つ目の発言にThis woman is wearing a costume from “Sailor Moon.”とあるので、この部分を、主語を代名詞sheに置きかえて答える。(2)「アニメとマンガは世界中で人気がありますか。」という質問。チェンの最後の発言Anime and manga are popular around the world.より、人気があることがわかる。答えるときはanime and mangaを代名詞theyに置きかえる。

全訳

チェン：この写真を見てください。これはフランスでのイベントです。

アオイ：彼らは何をしていますのですか。

チェン：彼らは衣装を着てポーズをとっています。

アオイ：わあ！ この女の人は「セーラームーン」の衣装を着ています。これらの男の人たちは「ナルト」の衣装を着ています。

チェン：アニメとマンガは世界中で人気があります。

pp.138~139

びたトレ3

- 1 (1)○ (2)× (3)○
- 2 (1)イ (2)イ (3)ア
- 3 (1)Is, waiting (2)Are, interested
(3)is, reading
- 4 (1)Are (2)do (3)Is
- 5 (1)ア
(2)Can you help me with my English homework?
(3)I am doing my homework
(4)イ (5)ア
- 6 (1)What are you looking for?
(2)Does she run every day?
(3)They are not waiting for a bus.

考え方

1 (1)「笑う」「葉」 (2)「こみ合った」「～を育てる」 (3)「国」「しかし」

- 1 (1)「笑う」「葉」 (2)「こみ合った」「～を育てる」 (3)「国」「しかし」
- 2 (1)2番目の音節を強く読む。「演奏」 (2)2番目の音節を強く読む。「例」 (3)最初の音節を強く読む。「興味を持った」
- 3 (1)現在進行形の疑問文はbe動詞を主語の前に置く。「～を待つ」はwait for～。 (2)「～に興味がある」はbe interested in～。疑問文なので、be動詞を主語の前に置く。 (3)「何を～していますか」はWhatのあとに現在進行形の疑問文の語順を続ける。
- 4 (1)BはNo, they aren't.とbe動詞を使って答えているので、Aは「～していますか」とたずねているとわかる。主語が複数なので、be動詞はAreとする。「生徒たちは昼食を食べているのですか。」「いいえ、ちがいます。彼らは教室を掃除しています。」 (2)Bはgo shopping「買い物に行く」と現在の文で答えているので、doを入れてWhat do you～? 「あなたは何を～しますか」とたずねる文にする。「あなたはふつう週末に何をしますか。」「私は家族といっしょに買い物にいきます。」 (3)Bはbe動詞を使って答えているので、Isを入れて現在進行形の疑問文にする。「彼は自分の部屋で勉強しているのですか。」「いいえ、ちがいます。彼はテレビゲームをしています。」
- 5 (1)()には電話をかけてきた相手に「どうしたの?」と用件をたずねる表現が入ると考えられる。What's up?が適切。 (2)「～してくれますか」はCan you～?の形で表す。「私の英語の宿題を手伝う」はhelp～with...「～の…を手伝う」を使って表す。 (3)「(今)～しています」の意味となる<be動詞+動詞のing形>の現在進行形の文にする。 (4)()のあとにnow「今」があるので、<be動詞+動詞のing形>を入れて「(今)～しています」とするのが適切。 (5)エラは下線部⑤の前にGreat!「すばらしい!」と言っている、あとでいっしょにカップケーキを食べようという提案に喜んでいることがわかる。ウは「宿題を放って」という記述が本文にないので誤り。

全訳

ミカ：もしもし。ミカです。エラをお願いします。

エラ：こんにちは、ミカ。エラです。どうしたの?

ミカ：こんにちは，エラ。今日はひまですか。
私の英語の宿題を手伝ってくれますか。
エラ：ええと，私は今自分の宿題をしています
が，そのあとだったら手伝うことができます。
ミカ：ありがとう。私は今カップケーキを作っ
ているので，あとでいっしょにそれらを
食べましょう。
エラ：すばらしい！ 電話をしてくれてありが
とう。

- 6 (1)「あなたは何を探していますか。」とする。
「何」Whatを文頭に置き，現在進行形の疑問文を続ける。「～を探す」はlook for ～。
(2)「毎日」とあるので，現在の疑問文で「(日常的・習慣的に)走りますか」とたずねる文にする。(3)現在進行形の否定文はbe動詞のあとにnotを置く。「～を待つ」はwait for ～。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- ()内の語数で書けている。(2点)
- (1)What are you ～?の形で書けている。(4点) (2)Does she ～?の形で書けている。(4点) (3)be動詞のあとにnotを置いてThey are not ～.の形で書けている。(4点)

Let's Read

p.140 びたトレ 1 (Let's Read ①)

- 1 (1)not play (2)could not watch
(3)could not find
- 2 (1)thought and thought (2)one by one

考え方

- 1 「～することができませんでした」は<could not + 動詞の原形>で表す。
(1)「彼女はテニスをすることができませんでした。」 (2)「ポールはテレビを見ることができませんでした。」 (3)「彼は自分のめがねを見つけることができませんでした。」
- 2 (1)「考えに考える」はthink and thinkで表す。「考えた」なのでthinkを過去形のthoughtにする。(2)「1つ[1人]ずつ」はone by one。

p.141 びたトレ 1 (Let's Read ②)

- 1 (1)to swim (2)wants to visit

- (3)wants to play
2 (1)leave, behind (2)one of

考え方

- 1 「～したい」はwant to ～で表す。
(1)「彼らは海で泳ぎたいです。」(2)「彼女はニューヨークを訪れたいです。」 (3)「彼はテレビゲームがしたいです。」
- 2 (1)「～をあとに残していく」はleave ～ behind。(2)「～の1つ」はone of ～で表す。

pp.142～144

びたトレ 2

- 1 (1)イ (2)イ (3)ア (4)イ
- 2 (1)dropped, into (2)want to read
(3)How did, cross (4)tried, ways
- 3 (1)They could carry a lot of boxes(.)
(2)I want to drink water(.)
(3)The farmer takes the cabbages across(.)
- 4 (1)そのとき何が起こりましたか
(2)犬をあとに残していきました
(3)石を1つずつテーブルの上に置きました
(4)一度に彼女の家族を連れていくことはできません
- 5 (1)イ (2)thought and thought
(3)(例)小さな石をたくさん集めて，それらを1つずつ水差しの中に落とした。
(4)The stones raised the water level
- 6 (1)Are you thirsty?
(2)She has a good idea.
(3)We want to go to a Japanese restaurant.
- 7 (1)a wolf, a goat, and a cabbage
(2)日本語訳：彼はオオカミとヤギをあとに残していくことができません。
理由：オオカミがヤギを食べてしまうから。
(3)ウ
- 8 (1)A (thirsty) crow did.
(2)He found a pitcher.
(3)It is in the pitcher.

考え方

- 1 (1)too expensiveで「高すぎる」。to expensiveでは意味をなさない。(2)veryは前から形容詞，副詞を修飾する。(3)助動詞couldの後ろには動詞の原形がくる。(4)one of (the)の後ろには複数を表す名詞がくる。
- 2 (1)「～を落とす」はdrop。過去形は最後のp

を重ねてからedをつける。「～の中へ」はinto。(2)「読みたい」はwant to readと表す。(3)「どうやって～しますか」は(How+疑問文の形)。(4)「～を試す」はtryで、「方法」はwayで表す。「いろいろな方法」などでvarious waysと複数形にする。

3 (1)「～することができた」は(could+動詞の原形)で表す。(2)「～したい(と思っている)」はwant to ～で表す。(3)「(船などで)～を渡す」はtake ～ acrossで表す。

4 (1)疑問詞のWhatが主語なので「何が～しましたか」となる。(2)このleftはleave「～を残していく」の過去形。leave ～ behindは「～をあとに残していく」。(3)動詞put「～を置く」の過去形は形が変わらずputのまま。主語がSheなのに動詞のputに3人称単数・現在のsがついていないので、このputは過去形ということになる。one by oneは「1つずつ」。(4)takeは「～を連れていく」、at a timeは「一度に」。

5 (1)(①)の前後でtried「試した」からfailed「失敗した」という対照的な流れになっている。対照的な内容をつなぐ接続詞としてbut「しかし」が適切。(2)「考えに考えた」はthought and thought。同じ単語をandでつなぐとその単語を強調した表現になる。(3)下線部③の直後の文がその内容にあたる。(4)3の答えをふまえ、水差しに落とした「石」(the stones)、が「水位」(the water level)を「上げた」(raised)のである。

全訳

彼はたくさんの方法を試しましたが失敗しました。

彼のくちばしが短すぎたのです。

彼は考えに考えました。

「わかった。私にはいい考えがある！」

彼はたくさんの小さな石を集めました。

それらの石を彼は水差しに1つずつ落とししました。

そのとき何が起こったのでしょうか。

それらの石が水位を上げたのです。

ついに彼は水を飲むことができました。

6 (1)「のどがかわいた」はthirsty。thirstyは形容詞なので、Are you ~?の疑問文にする。(2)「いい考えを持っている」はhave a good ideaで表す。主語がSheとなるのでhaveはhasにする。(3)「～したい」はwant

to ～で表す。

7 (1)themなどの代名詞が何を指すかは前の文から探す。a wolf, a goat, and a cabbageであればまとめてthem「それら」で表せる。(2)leave ～ behindは「～をあとに残していく」。下線部②の直後の文の内容がその理由。(3)2で検討した内容を考えると、ヒツジとキャベツだけを残していけない理由としては「ヒツジはキャベツを食べる」が適切。

全訳

ある農夫がある川を渡りたいと思っています。彼はオオカミ、ヤギ、キャベツをいっしょに連れていきたいです。

彼の小さなボートでは農夫とそれらの1つしか一度に運べません。

彼はオオカミとヤギをあとに残していくことができません。オオカミはヒツジを食べるのです。彼はヤギとキャベツをあとに残していくことができません。ヤギはキャベツを食べるのです。

8 (1)「だれが水差しを見つけましたか。」という質問。最初の文A thirsty crow found a pitcher.が答えになる。(2)「カラスは何を見つけましたか。」という質問。最初の文に「カラスが水差しを見つけた」とある。(3)「ほんの少しの水はどこですか。」という質問。2番目の文He found water inside it.が答えになる。inside itのitは最初の文のpitcherのこと。

全訳

のどがかわいたカラスが水差しを見つけました。彼はその中に水を見つけました。彼はとてもうれしく思いました。しかし、彼はその水を飲めませんでした。彼のくちばしはそれに届かなかったのです。水差しにはほんの少しの水しか入っていませんでした。「私はこれを飲むことができませんが、私はとてものががかわいています。」

定期テスト予想問題

〈解答〉 pp.146~155

pp.146~147

予想問題 1

出題傾向

*主語に合わせてどのbe動詞を使うかが問われる。this, thatも適切に使えるようになっておく。

- 1 (1)こちらこそはじめまして。(2)It's (3)ア (4)that's a basketball
- 2 (1)is (2)am (3)is (4)is (5)are
- 3 (1)She is (2) I am (3)Is (4)It's
- 4 (1)This is Saburo. He's a junior high school student.
(2)Are you an English teacher?

考え方

- 1 (1)Nice to meet you.=「はじめまして。」
~, too=「~も」 (2)What's that?という
疑問文への答え方はIt is ~.。ここでは短
縮形のIt'sが入る。(3)be good at ~=「
~が得意です」 (4)「あれは~です」= That's
~.(That'sはThat isの短縮形) 前にコン
マがあり文が続いていることがわかるので
小文字から始める。

全訳

ワタル：やあ、ぼくはワタルです。日本出身です。

リタ：こんにちは、私はリタです。私はスペイン出身です。

ワタル：はじめまして。

リタ：こちらこそはじめまして。

ワタル：それは何ですか？

リタ：これはラケットです。

ワタル：それはテニスラケットですか？

リタ：いいえ、ちがいます。これはバドミントンのラケットです。バドミントンが得意なんです。

ワタル：わあ。いいですね。ぼくはバスケットボール部の一員です。

リタ：ああ、あれはバスケットボールです。

ワタル：そうです。

- 2 (1)Sheに対応するbe動詞はis。(2)Iに対応するbe動詞はam。(3)Thisに対応するbe動詞はis。(4)Heに対応するbe動詞はis。(5)Youに対応するbe動詞はare。
- 3 (1)Kateは女性なので、She is ~。「彼女は

~です」となる。(2)Are you ~?で聞かれたら、答え方はYes, I am.。(3)疑問文を作るときはbe動詞を主語の前につける。人の名前に対応するbe動詞はis。(4)What time is it?の疑問文への答え方はIt is ~.。ここでは短縮形のIt'sが入る。

- 4 (1)人を紹介するときはThis is ~.で表す。サブローは男性なので、heを使う。(2)「あなたは何ですか」= Are you ~?

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- (1)主語が男性か女性かで主語を使い分けている。(2)be動詞の疑問文が正しく書けている。(8点)

pp.148~149

予想問題 2

出題傾向

*be動詞と一般動詞の使い分けができているか、さまざまな一般動詞が覚えられているかが問われる。疑問詞などを使った疑問文も適切に作れるようになっておく。

- 1 (1)What vegetables do you need(?)
(2)potatoes (3)あなたはニンジンが必要ですか。(4)工
- 2 (1)a (2)any (3)some (4)an
- 3 (1)What color do you like?
(2)What time is it?
(3)How many coats do you have?
- 4 (1)Don't swim here.
(2)I don't drink milk.
(3)I want these T-shirts.

考え方

- 1 (1)<what + 名詞>=「何の~」 (2)名詞は総称をいう場合、複数形で表す。語尾がoで終わる語はesをつける。(3)need=「~を必要とする」、carrot=「ニンジン」 (4)あとの文で値段を答えているので、How much「いくら」とする。

全訳

ベン：今日の昼食はカレーライスです。

サオリ：何の野菜が必要ですか。

ベン：ジャガイモが必要です。

サオリ：ジャガイモはいくつ必要ですか。

ベン：4つ必要です。

サオリ：ニンジンは必要ですか。

ベン：いいえ、ニンジンはありません。家にニンジンがあります。

サオリ：デザートに何がほしいですか。

ベン：アイスクリームがほしいです。あなたははどうですか。

サオリ：私もほしいです。あのストロベリーアイスクリームがいいです。いくらですか。

ベン：300円です。

サオリ：2つ買いたしましょう。

- ② (1) watchは単数形なのでaを入れる。(2) brothersは複数形で疑問文なのでany「いく人かの」を入れる。(3) friendsは複数形で肯定文なのでsome「いく人かの」を入れる。(4) eggは単数形で、かつ頭文字がe(母音)で始まるのでanを入れる。breadは数えられない名詞。
- ③ (1) 色をたずねるので、〈what + 名詞〉のWhat colorで始まる疑問文にする。(2) 何かをたずねるので、What timeで始まる疑問文にする。(3) 数をたずねるので、〈How many + 名詞の複数形〉で始まる疑問文にする。
- ④ (1) 否定の命令形はDon't ~.で表す。(2) 否定文を作るときは一般動詞の前にdon't[do not]を入れる。(3) 「これらの」はtheseで、Tシャツは複数形にする。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- (1) 命令形が正しく使えている。(2) 一般動詞の否定文が正しく使えている。(3) 正しく複数形で表せている。(7点)

pp.150~151

予想問題 3

出題傾向

* 3人称単数・現在の文、canの文を正しく使えているかが問われる。目的語で使われる代名詞やwho, whoseなどの疑問詞の疑問文も適切に使えるようになっておく。

- ① (1) likes (2) Who
(3) Can she ride a unicycle(?) (4) them
(5) ①ナオのおじさん ②トモコ
- ② (1) イ (2) ア (3) ア (4) イ (5) ア
- ③ (1) Whose (2) can't[cannot] (3) Does
- ④ (1) She doesn't[does not] cook on Sunday(s).
(2) Can you open the window?

考え方

- ① (1) heが3人称単数なので、一般動詞にはsをつける。(2) あとの文で人について答えているので、疑問詞Whoを入れる。(3) canの疑問文では主語の前にcanを置く。(4) 動詞likeの目的語なのでthemにする。(5) ①ナオが2行目で「おじの車です」と言っている。②トモコについては6行目で「彼女は高校生です」、リュウタについては10行目で「彼は11歳です」と言っているため、答えはトモコ。

全訳

マイク：これはだれの車ですか。かっこいいですね！

ナオ：おじの車です。彼は車がとても好きなんです。これが彼です。彼は医者です。

マイク：彼は病院で働いているのですか。

ナオ：はい、そうです。

マイク：この女の子はだれですか。

ナオ：彼女は私のいとこのトモコです。彼女は高校生です。

マイク：これは一輪車ですか。彼女は一輪車に乗れますか。

ナオ：いいえ、乗れません。この一輪車は彼女の弟のものです。これが彼女の弟のリュウタです。

マイク：彼は中学生ですか。

ナオ：いいえ、彼は11歳です。

マイク：この家はあなたの家ですか。

ナオ：はい。おじ、おばといとこが私たちの家に毎年夏に来ます。私は彼らが大好きです。

- ② (1) 動詞の目的語なのでmeが入る。(2) 動詞の目的語なのでherが入る。(3) 主語なのでWeが入る。(4) 名詞cakeの前なので、「~の」という所有格のhisが入る。(5) 「これらのドラムは~です。」という文の意味から、「私のもの」を意味するmineが入る。
- ③ (1) だれのものかをたずねるので、疑問詞のwhoseを入れる。(2) Can you ~?で聞かれたら、答え方はNo, I can't[cannot].。(3) Yes, she does.と答えているので、Does ~?とたずねる。
- ④ (1) 一般動詞の否定文では、主語が3人称単数で現在の文の場合、一般動詞の前にdoesn't[does not]を入れる。(2) 「~してくれますか」と人に依頼する場合は、Can you ~?で表す。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- (1)3人称単数・現在の否定文が正しく使えている。(2)canの疑問文が正しく使えている。(8点)

pp.152~153

予想問題 4

出題傾向

* be動詞と一般動詞の文を使い分けているか、be動詞の過去形が使えるかが問われる。whenやwhereなどの疑問詞を使う疑問文や、その応答文も確認しておく。

- ① (1)それは、以前は彼のものでしたが、今は私のもんです。(2)Why (3)dinosaurs (4)Can I come with you
- ② (1)by (2)Which (3)Were (4)What time
- ③ (1)When is your birthday? (2)Where do you play baseball? (3)Whose gloves are they?
- ④ (1)I was busy last month. (2>Your notebook is under that table.

考え方

- ① (1)before「以前は」とnow「今」は時を表す表現で、時制に注意して訳す。wasはisの過去形。(2)あとの文でBecauseから始まる「理由」が述べられているので、疑問詞のWhyが入る。(3)すぐ前の会話で「その映画ではたくさんの恐竜を見ることができます。」と言っているので、themはdinosaurs「恐竜」であるとわかる。(4)canの疑問文は主語の前にcanを置く。withのあとは目的格が入るためyouが入り、主語は主格のIとなる。

全訳

ジャネット：ああ、その映画のTシャツに覚えがあります。それはあなたのお兄さんのものですか。

エイスケ：いいえ。それは、以前は彼のものでしたが、今は私のもんです。

ジャネット：あなたは本当にその映画が好きなのね。

エイスケ：はい。

ジャネット：なぜそれがそんなに好きなのですか。

エイスケ：恐竜が好きだからです。その映画ではたくさんの恐竜を見ることができ

ます。

ジャネット：あら、私もそれらが好きですよ。
エイスケ：本当に？ 私は恐竜についての本を2冊持っています。見たいですか。

ジャネット：はい。

エイスケ：どうぞ。

ジャネット：どちらの本がおすすめですか。

エイスケ：私はその青い本をすすめます。それには絵がたくさんありますよ。それは図書館の本です。私は土曜日に図書館に行って恐竜についての本を読みます。

ジャネット：いいですね。次の土曜日にあなたといっしょに行ってもいいですか。

エイスケ：もちろん。

- ② (1)方法を言うときにはby「～によって」を使う。(2)2つの選択肢の中でどちらかという疑問文では、疑問詞のwhichを入れる。(3)then「そのとき」は過去を表す表現。Yes, I was.と答えているので、Were you ~?とたずねる。(4)時間について答えているので、〈what+名詞〉のwhat timeを入れる。
- ③ (1)いつかをたずねるので、疑問詞はWhenを使う。(2)場所をたずねるので、疑問詞はWhereを使う。(3)だれのものかをたずねるので、疑問詞はWhoseを使う。
- ④ (1)過去の文では動詞は過去形にする。「先月」=last month (2)「～の下に」=under

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- (1)be動詞の過去形が正しく使えている。(2)前置詞が正しく使えている。(8点)

pp.154~155

予想問題 5

出題傾向

*現在進行形で問われるのは、be動詞の使い方と動詞のing形。一般動詞の過去形も正しく覚えておく。

- ① (1)am doing (2)What did you do (3)ウ (4)bought (5)ウ
- ② (1)イ (2)ウ (3)ウ (4)ア (5)ウ
- ③ (1)ate (2)isn't (3)did
- ④ (1)I didn't[did not] go to a bookstore yesterday.

(2)What are you reading now?

考え方

- ① (1)現在進行形の文で聞かれているので、同じ現在進行形の(be動詞+動詞のing形)の文で答える。(2)whatは文の初めに置き、whatのあとは過去形の一般動詞の疑問文の形にする。(3)「電話で」= on the phone (4)過去を表す表現last monthがあるので過去形にする。buyの過去形はbought。(5)7, 8行目で「放課後に宿題をして、夕食後ミキと電話で話して、そのあとにコンピューターで映画を見たわ」と言っているので、答えはウ。

全訳

ベティ：何しているの？
カズオ：数学の宿題をしているんだ。
ベティ：今？ 昨日やらなかったの？
カズオ：昨日、新しいテレビゲームを買ったんだ。すごく興奮したよ。
ベティ：あなたは昨日テレビゲームで遊んで宿題をしなかったのね。
カズオ：その通りだ。君は昨日何していたの？
ベティ：放課後に宿題をして、夕食後ミキと電話で話して、そのあとにコンピューターで映画を見たわ。
カズオ：コンピューターを持っているの？
ベティ：ええ。父が先月私の誕生日に買ってくれたの。
カズオ：いいね！ ぼくもコンピューターを持ってそれでオンラインゲームがしたいよ。
ベティ：まずは宿題を終わらせなさいよ。
カズオ：そうだね。今は話しかけないで。
ベティ：わかったわ。

- ② (1)習慣を表すevery dayがあるので、現在形となることわかる。主語が3人称単数だと一般動詞にsをつけるので、答えはイ。(2)過去を表すyesterdayがあるので、答えはgoの過去形のwentを使ったウとなる。(3)現在を表すnowがあり、動作を表す一般動詞のwatchは現在進行形となることわかるので、答えはウ。(4)習慣を表すusuallyがあるので、現在形となることわかる。主語が複数なので、答えはア。(5)過去を表すlast weekがあるので、答えは過去形の疑問文で使うウとなる。
- ③ (1)過去形の疑問文に答える場合は、一般動詞は過去形となる。eatの過去形はate。

(2)〈Is + 男性名 + ~?〉で聞かれたら、答え方はNo, he isn't.。(3)Did ~?で聞かれたら、答え方はYes, he did.。

- ④ (1)過去形の否定の文を作るときは一般動詞の前にdidn't[did not]を入れる。(2)「何」をたずねる疑問文ではWhatを文の初めに置く。「読む」は動作で現在について言うので、現在進行形の文にする。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- (1)一般動詞の過去形の否定文が正しく使えている。(2)現在進行形のwhatの疑問文が正しく使えている。(8点)

リスニングテスト

〈解答〉

① 小学校の復習

- ① (1)× (2)○ (3)×

ココを聞きトレ① 疑問文の疑問詞を正しく聞き取ろう。疑問詞が what なら「もの」について、where なら「場所」についてたずねていることを整理して、絵の内容と合っているかどうかを確認する。場所を表す in や on などの前置詞にも注意。

英文

(1) **Woman** : What's your name?

Man : My name is Takashi.

(2) **Man** : What animals do you like?

Woman : I like rabbits.

(3) **Woman** : Where is your cap?

Man : It's on the desk.

日本語訳

(1) 女性 : あなたの名前は何ですか。

男性 : 私の名前はタカシです。

(2) 男性 : あなたは何の動物が好きですか。

女性 : 私はウサギが好きです。

(3) 女性 : あなたのぼうしはどこですか。

男性 : それは机の上にあります。

- ② (1)ウ (2)ウ

ココを聞きトレ② 質問文が Yes / No で答えられる疑問文か、疑問詞で始まる疑問文かに注目しよう。Is ~? は Yes / No で答えられる疑問文なので、基本的には Yes / No の答えを選ぶ。what はものについてそれが「何か」をたずねる疑問詞。その「何」に相当する答えを選ぶ。

英文 Nice to meet you. My name is Mai. I'm from Osaka. I go to school. I like English. I study it hard. I like cooking, too. I can make apple pie. It is delicious. I want to be a cook.

Questions : (1) Is Mai a student?

(2) What is Mai's favorite subject?

日本語訳 はじめまして。私の名前はマイです。私は大阪出身です。私は通学しています。私は英語が好きです。私は一生懸命それを勉強します。私は料理をすることも好きです。私はアップルパイを作ることができます。それはおいしいです。私は料理人になりたいです。

質問 : (1) マイは学生ですか。

(2) マイの好きな教科は何ですか。

② be 動詞

- ① (1)オ (2)イ (3)エ (4)ウ

ココを聞きトレ③ 登場人物が女性か男性か、単数か複数かに注意して聞こう。he は単数の男性を、she は単数の女性を指す。また、is は主語が単数のときに、are は主語が複数のときに使うので、これらの単語を手がかりにしよう。be 動詞のあとには、名前や職業などの情報が続く。ここでは、教科やスポーツの名前、部活動の内容を表す語を正しく聞き取ることが重要。

英文 (1) She is Aya. She is a tennis player. (2) He is Mr. Tanaka. He is a math teacher. (3) They are Yuki and Kana. They are in the music club. (4) They are Ken and Jun. They are on the soccer team.

日本語訳 (1) 彼女はアヤです。彼女はテニス選手です。(2) 彼はタナカ先生です。彼は数学の教師です。(3) 彼女らはユキとカナです。彼女らは音楽部に所属しています。(4) 彼らはケンとジュンです。彼らはサッカー部に所属しています。

- ② (1)× (2)× (3)○

ココを聞きトレ④ 対話文に出てくるものの名前や持ち主、地名を正しく聞き取ろう。疑問文と Yes / No の答えから正しい情報を整理し、絵の内容と照らし合わせる。答えが No の場合には、そのあとに正しい情報が示されるので、聞きのがさないように注意。

英文

(1) **Man** : Is this your bag, Miki?

Woman : Yes, it is. It's my bag.

(2) **Woman** : Is that a cat?

Man : No, it isn't. It's a dog.

(3) **Man** : Are you from Okinawa?

Woman : No, I'm not. I'm from Hokkaido.

日本語訳

(1) 男性 : これはあなたのかばんですか、ミキ。

女性 : はい、そうです。それは私のかばんです。

(2) 女性 : あれはネコですか。

男性 : いいえ、ちがいます。それはイヌです。

(3) 男性 : あなたは沖縄出身ですか。

女性 : いいえ、ちがいます。私は北海道出身です。

③ 一般動詞

1 (1)ウ (2)エ (3)ア

ココを聞きトレ⑥ 絵にあるスポーツ用品や教科、動物を見て、どのような単語が使われるかをあらかじめ予測し、それらの単語に注意して対話を聞こう。複数あるものは数にも注意。応答文のYes / No, 否定文のnotに注意し、聞き取った情報を整理してから、解答を選ぼう。

英文

(1) **Woman** : Do you play basketball?

Man : Yes, I do. I play baseball, too.

(2) **Man** : Does Rika like math?

Woman : No, she doesn't. But she likes English and music.

(3) **Woman** : Does John have any cats or dogs?

Man : He doesn't have any cats. He has two dogs.

日本語訳

(1) 女性：あなたはバスケットボールをしますか。

男性：はい、します。私は野球もします。

(2) 男性：リカは数学が好きですか。

女性：いいえ、好きではありません。しかし、彼女は英語と音楽が好きです。

(3) 女性：ジョンはネコかイヌを飼っていますか。

男性：彼はネコを1匹も飼っていません。彼は2匹のイヌを飼っています。

2 (1)イ (2)ウ

ココを聞きトレ⑥ 交通手段と兄弟姉妹の数を正しく聞き取ろう。登場人物が複数いるので、それぞれの人物について聞き取った情報を整理すること。aやtwoのような数を表す語、名詞の複数形にも注意しよう。

英文

(1) **Emi** : Do you walk to school, Mike?

Mike : No. I go to school by bus. Do you walk to school, Emi?

Emi : I sometimes walk, but I usually go to school by bike.

(2) **Ryo** : Hi, Kate. Do you have any brothers or sisters?

Kate : Yes. I have two sisters. How about you, Ryo?

Ryo : I have a sister and a brother.

日本語訳

(1) エミ：あなたは歩いて学校に行きますか、マイク。

マイク：いいえ。私はバスで学校に行きます。
あなたは歩いて学校に行きますか、エミ。
エミ：私はときどき歩いて行きますが、たいいては自転車で学校に行きます。

(2) リョウ：やあ、ケイト。あなたには兄弟か姉妹がいますか。

ケイト：はい。私には姉妹が2人います。あなたはどうですか、リョウ。

リョウ：私には姉妹が1人、兄弟が1人います。

④ can の文

1 (1)○ (2)× (3)○

ココを聞きトレ⑥ canのあとにくる動詞が表す動作の内容を正しく聞き取ろう。登場人物が複数いるので、それぞれの人ができることとできないことを整理して、絵の内容と合っているかどうかを確認する。

英文

(1) **Man** : Is the girl Japanese?

Woman : No. But she can speak Japanese. She can speak English, too.

(2) **Woman** : Kevin, you can swim well, right? Can your brother Tom swim, too?

Man : No, he can't. But he can run fast.

(3) **Man** : Can I use this computer on Mondays, Ms. Suzuki?

Woman : Sorry, Mike. I use it on Mondays. You can use it on Fridays.

日本語訳

(1) 男性：その女の子は日本人ですか。

女性：いいえ。でも彼女は日本語を話せます。彼女は英語も話せます。

(2) 女性：ケビン、あなたは上手に泳げますよね。あなたの弟さんのトムも泳げますか。

男性：いいえ、泳げません。しかし、彼は速く走れます。

(3) 男性：私は月曜日にこのコンピュータを使うことができますか、スズキ先生。

女性：ごめんなさい、マイク。私は月曜日にそれを使います。あなたは金曜日にそれを使うことができます。

2 イ、カ

ココを聞きトレ⑥ 博物館の中でもよいことと、してはいけないことを正しく聞き取ろう。Don't ~.やPlease ~.の命令文で表されているものも

あるので注意。canとcan'tを聞き間違えないようにすることも重要。

英文

John : Excuse me. Can I take pictures in the museum?

Clerk : I'm sorry, you can't.

John : I see. Can I take my bag with me?

Clerk : Yes, you can. But don't take your dog with you. And you can't eat or drink in the museum. Please leave the museum before five o'clock.

John : All right.

Clerk : Enjoy the pictures in our museum!

日本語訳

ジョン：すみません。博物館の中で写真をとってよいですか。

博物館員：申し訳ありませんが、できません。

ジョン：わかりました。私のかばんは持っていてもよいですか。

博物館員：ええ、いいです。でもあなたのイヌは連れて行ってはいけません。それから、博物館の中で食べたり飲んだりしてはいけません。5時前には、博物館を出てください。

ジョン：わかりました。

博物館員：博物館にある絵を楽しんでください！

⑤ 疑問詞①

① (1)イ (2)エ (3)ア

ココを聞きトレ③ ものの数や時刻など、数字の聞き取りがポイント。ものの種類が複数あるときは、それぞれについて数を正しく聞き取ること。fiftyとfifteenのように聞き間違いやすい数字には特に注意。

英文

(1)**Man** : What do you want?

Woman : I want four pens and three erasers.

(2)**Woman** : What time do you eat breakfast?

Man : I eat breakfast at six fifty.

(3)**Man** : How many books do you have in your bag?

Woman : I have two.

日本語訳

(1)男性：あなたは何がほしいですか。

女性：私は4本のペンと3個の消しゴムがほしいです。

(2)女性：あなたは何時に朝食を食べますか。

男性：私は6時50分に朝食を食べます。

(3)男性：あなたはかばんの中に何冊の本を持っていますか。

女性：私は2冊持っています。

② (1)ウ (2)エ

ココを聞きトレ③ 質問文が疑問詞で始まる疑問文の場合には、疑問詞の種類に注意。whatはものについてそれが「何」かを、whoは人についてそれが「だれ」かをたずねる疑問詞。それぞれ「何」「だれ」に相当する答えを選ぼう。登場人物が2人いるので、それぞれの人についての情報を正しく聞き取ること。

英文 Hello, everyone. I'm Takashi. I'm from Nagano. I'm a junior high school student. I'm on the soccer team at school. I practice soccer every day. I sometimes play tennis on Sundays. I have a sister. Her name is Kumi. She is seventeen years old. She plays the guitar very well. She is a basketball player. Thank you.

Questions : (1)What does Takashi practice every day?

(2)Who is Kumi?

日本語訳 こんにちは、みなさん。私はタカシです。私は長野出身です。私は中学生です。私は学校でサッカー部に所属しています。私は毎日サッカーを練習します。私はときどき日曜日にテニスをします。私には姉がいます。彼女の名前はクミです。彼女は17歳です。彼女はとても上手にギターをひきます。彼女はバスケットボール選手です。ありがとうございます。

質問：(1)タカシは毎日何を練習しますか。

(2)クミとはだれですか。

⑥ 疑問詞②

① (1)エ (2)ア (3)ウ

ココを聞きトレ③ 疑問詞で始まる疑問文が出てきたら、応答文を予測しながら聞こう。たとえば、whenは「時」を、whereは「場所」をたずねる疑問詞なので、応答文の中にはそれらの情報が含まれていると考えられる。時間や場所の表現にはatやin, onなどの前置詞が使われることが多いので、それぞれの意味も確認しておこう。

英文

(1) **Man** : When is your birthday?

Woman : It's July thirtieth.

(2) **Woman** : Where is my pencil?

Man : It's on the table.

(3) **Man** : Yuki, whose cap is this?

Woman : Oh, it's mine, John.

日本語訳

(1) 男性 : あなたの誕生日はいつですか。

女性 : 7月30日です。

(2) 女性 : 私のえんぴつはどこにありますか。

男性 : テーブルの上にあります。

(3) 男性 : ユキ, これはだれのぼうしですか。

女性 : ああ, それは私のです, ジョン。

2 (1)イ (2)エ

ココを聞きトレ③

疑問文の疑問詞を正しく聞き取ろう。疑問詞が when なら「時」, where なら「場所」について述べている応答文を見つければよい。

英文

(1) **Woman** : Do you like soccer?

Man : Yes. I like it very much. I'm a member of the soccer team.

Woman : When do you practice soccer?

(2) **Man** : Jane lives in Japan, right?

Woman : Well, she lived in Japan before, but now she doesn't live here.

Man : Oh, where does she live now?

日本語訳

(1) 女性 : あなたはサッカーが好きですか。

男性 : はい。私はそれがとても好きです。私はサッカー部の部員です。

女性 : あなたはいつサッカーを練習しますか。

(2) 男性 : ジェーンは日本に住んでいますよね。

女性 : ええと, 彼女は以前は日本に住んでいたのですが, 今はここに住んでいません。

男性 : ああ, 彼女は今どこに住んでいるのですか。

⑦ 現在進行形

1 (1)オ (2)エ (3)カ (4)イ

ココを聞きトレ③

それぞれの英文が表す動作の内容を正しく聞き取ろう。特にing形になっている動詞の聞き取りに注意する。人の名前やhe, sheなどの語も, 女性か男性かを区別するヒントになる。

英文

(1) Aya is reading an English book. She is using a dictionary. (2) Miki is making curry for lunch. Everyone likes curry very much. (3) Yuta is talking with Ryo. He has a book in his hand. (4) Kumi likes music very much. She is listening to music. She is not watching TV.

日本語訳

(1) アヤは英語の本を読んでいます。彼女は辞書を使っています。(2) ミキは昼食にカレーを作っています。みんなはカレーが大好きです。(3) ユウタはリョウと話しています。彼は手に本を持っています。(4) クミは音楽が大好きです。彼女は音楽を聞いています。彼女はテレビを見ていません。

2 イ, エ

ココを聞きトレ③

対話から, だれが何をしているところかを正しく聞き取ろう。時や場所などの情報にも注意すること。whatのような疑問詞で始まる疑問文のあとでは, 重要な情報が話されることが多いので注意して聞こう。

英文

Becky : Hello, this is Becky.

Shinji : Hi, Becky. This is Shinji.

Becky : What are you doing now?

Shinji : I'm eating breakfast with my brother.

Becky : Shinji, I'm studying Japanese, but I can't read some kanji.

Shinji : OK. I can help you after breakfast. Can you come to my house?

Becky : Sure. I can go to your house at ten o'clock.

Shinji : Great, Becky. See you soon.

日本語訳

ベッキー : こんにちは, ベッキーです。

シンジ : やあ, ベッキー。シンジだよ。

ベッキー : あなたは今, 何をしているの ?

シンジ : ぼくは弟といっしょに朝食を食べているよ。

ベッキー : シンジ, 私は日本語を勉強しているんだけど, 漢字がいくつか読めないの。

シンジ : わかった。朝食後にぼくが助けてあげるよ。ぼくの家に来ることができる ?

ベッキー : もちろん。10時にはあなたの家に行くことができるわ。

シンジ : いいね, ベッキー。あとでね。

⑧ 一般動詞の過去形

1 (1)イ (2)エ (3)ア

ココを聞きたい③ 時間、場所の聞き取りがポイント。過去の行動について複数の情報がある場合は、それらの出来事がどのような順序で起こったかにも注意しよう。What timeで始まる疑問文のあとでは、時刻が話題になることも意識して聞こう。

英文

(1) **Woman** : Did you play volleyball yesterday, Koji?

Man : No, I didn't. I played baseball after lunch.

(2) **Man** : Did you go to the park last Sunday, Kana?

Woman : Yes, I did. I went there in the morning. Then I visited the zoo in the afternoon.

(3) **Woman** : What time did you get up this morning, Tom?

Man : I got up at eight. And I had breakfast at nine. I didn't study this morning.

日本語訳

(1)女性：あなたは昨日バレーボールをしましたか、コウジ。

男性：いいえ、しませんでした。私は昼食後に野球をしました。

(2)男性：あなたはこの前の日曜日に公園に行きましたか、カナ。

女性：はい、行きました。私は午前中にそこへ行きました。それから私は午後動物園を訪れました。

(3)女性：あなたは今朝、何時に起きましたか、トム。

男性：私は8時に起きました。そして私は9時に朝食を食べました。私は今朝、勉強しませんでした。

2 (1)ウ (2)イ

ココを聞きたい③ 疑問文がYes / Noで答えられる疑問文か、疑問詞で始まる疑問文かに注目しよう。Did ~?はYes / Noで答えられる疑問文なので、基本的にはYes / Noの答えを選ぶ。疑問詞で始まる疑問文には、疑問詞に応じて具体的な答えを選ぶ。

英文 Hi, everyone. My name is Rika. Did you enjoy your summer vacation? I went to London with my family. We visited some

museums there. We watched a soccer game, too. People in London like soccer very much. We enjoyed the food at some restaurants. We had a very good time. Thank you.

Questions : (1)Did Rika go to London with her family?

(2)What did Rika do in London?

日本語訳

こんにちは、みなさん。私の名前はリカです。あなたたちは夏休みを楽しみましたか。私は家族といっしょにロンドンに行きました。私たちはそこでいくつかの美術館を訪れました。私たちはサッカーの試合も見ました。ロンドンの人々はサッカーが大好きです。私たちはいくつかのレストランで食べ物を楽しみました。私たちはとても楽しい時を過ごしました。ありがとう。

質問：(1)リカは家族といっしょにロンドンに行きましたか。

(2)リカはロンドンで何をしましたか。

⑨ be 動詞の過去形／過去進行形

1 (1)イ (2)ア (3)ア

ココを聞きたい③ 登場人物の過去のある時点の行動や状態を正しく聞き取ろう。last night, last year, yesterdayなどの過去の時を表す語句や、at seven, from six o'clockなどの時刻を表す語句に特に注意する。英文の主語がだれかにも注意して、絵に表された人物の行動や状態を表す解答を選ぼう。

英文 (1)Miki had dinner at seven last night. She was writing a letter at nine. She did her homework before dinner. (2)Ken and Mike are on the soccer team this year. But last year, Ken was on the baseball team, and Mike was on the tennis team. (3)I'm Paul. I came home at five yesterday. My sister Emma was reading a book. My brother John was listening to music. We watched TV together from six o'clock.

日本語訳

(1)ミキは昨夜7時に夕食を食べました。9時には手紙を書いていました。宿題は夕食前にしました。(2)ケンとマイクは今年サッカー部にいます。しかし昨年、ケンは野球部にいて、マイクはテニス部にいました。(3)ぼくはポールです。ぼくは昨日5時に帰宅しました。姉のエマは本を読んでいました。弟のジョンは音楽を聞いていました。ぼくたちは6時からいっしょにテレビを見

ました。

2 (1)イ (2)ウ

ココを聞きトレ⑥ 日時と場所に注意して、対話している人物の行動を正しく聞き取ろう。場所の情報はwhereの疑問文のあとに言われることが多いので注意。

英文

Tom : Hi, Yumi. I called you yesterday, but you were not at home. Where were you?

Yumi : Sorry, Tom. I listened to a CD at the music shop in the morning.

Tom : Really? But I called you at three in the afternoon. What were you doing then?

Yumi : Oh, I was in the park. I was playing tennis with my friends. Were you at home yesterday?

Tom : Well, I was in the library and studied math in the morning. But I was at home in the afternoon. I watched a soccer game on TV.

Questions : (1)Who was Yumi with yesterday afternoon?

(2)Where was Tom yesterday morning?

日本語訳

トム：やあ、ユミ。昨日きみに電話したけど、家にいなかったね。どこにいたの？

ユミ：ごめんなさい、トム。午前中は音楽店でCDを聞いたのよ。

トム：ほんと？ でもぼくは午後3時に電話をしたんだ。そのとき何をしていたの？

ユミ：ああ、公園にいたわ。友だちとテニスをしてたの。あなたは昨日家にいた？

トム：ええと、午前中は図書館にいて、数学を勉強したよ。でも午後は家にいたよ。テレビでサッカーの試合を見たんだ。

質問：(1)ユミは昨日の午後に、だれといつしょにいましたか。

(2)トムは昨日の午前中、どこにいましたか。

⑩ 1年間の総まとめ

1 (1)エ (2)ア (3)ウ (4)イ

ココを聞きトレ⑥ 質問で特定の人の情報が問われて

いる場合は、表の中からすばやくその人の情報を見つけ出そう。whereなら「場所」、whoなら「人」のように、疑問詞で始まる疑問文に対する答えは限定されるので、必要な情報にしばって探すとよい。

英文 (1)Where is Becky from? (2)Who is on the tennis team? (3)When does Ken practice baseball? (4)How many people can play the piano?

日本語訳 (1)ベッキーはどこ出身ですか。(2)だれがテニス部に所属していますか。(3)ケンはいつ野球を練習しますか。(4)何人の人がピアノをひくことができますか。

2 (1)ウ (2)エ

ココを聞きトレ⑥ 時間と登場人物の行動の聞き取りがポイント。質問文のwhenは「時」をたずねる疑問詞なので、スピーチの中の時を表す語に特に注意しよう。登場人物が多い場合には、それぞれの人の行動を整理してから選択肢を読む。

英文 Hello, everyone. I'm Mike. I came to this school two months ago. I made some friends here. They are Kumi and Takashi. Takashi and I are members of the basketball team. Takashi is a good player. Last Saturday, we went to Kumi's house. Her family had a birthday party for Kumi and we joined them. I can't speak Japanese well, but Kumi always helps me at school. I'm enjoying my school life with my friends. Thank you.

Questions : (1)When did Kumi's family have a party?

(2)What does Kumi do at school?

日本語訳 こんにちは、みなさん。私はマイクです。私は2か月前にこの学校に来ました。私はここで何人かの友だちができました。彼らはクミとタカシです。タカシと私はバスケットボール部の部員です。タカシは上手な選手です。この前の土曜日、私たちはクミの家に行きました。彼女の家族がクミのために誕生日パーティーを開いたので、私たちは参加したのです。私は日本語が上手に話せませんが、クミは学校でいつも私を助けてくれます。私は友だちといつしょに学校生活を楽んでいます。ありがとう。

質問：(1)クミの家族はいつパーティーを開きましたか。

(2)クミは学校で何をしますか。

英作文にチャレンジ!

〈解答〉

- ① (1) I want two apples.
(2) I want to make fruit salad.
(3) How many oranges do you want?

英作力 UP 英作文では、まず語数制限や問題文中の条件設定を押さえよう。(1)「いらっしやいませ。」への応答の文。絵から「リンゴが2個ほしいです。」という内容の文を書く。ほしいものを言うときは、I want ~.を使う。(2)「したいことは、I want to ~.を使って表す。(3)ユカは直後に「4個ほしいです。」と返答しているので、数をたずねる文を入れる。How manyのあとの名詞(orange)は複数形にする。

- ② This is my father, Akira. He is [He's] a math teacher. He is [He's] good at singing. He can run fast. He likes movies. We sometimes go to a movie together. I like him very much.

英作力 UP 人を紹介するので、This is ~.「こちらは~です。」で文を始める。2文目以降は代名詞he「彼は[が]」を使って書く。「~(すること)がじょうずだ」はbe good at ~ingで表す。He is a good singer.としてもよい。「速く走ることができる」は(can+動詞の原形)を使って表す。「映画に行く」はgo to a movie.

- ③ (1) You can take pictures here. (2) (You can't) eat or drink. (3) (You) cannot [can't] touch the photos. (4) (Please) be quiet.

英作力 UP (1)「写真撮影は可能です」はYou can ~.「あなたは~することができる。」の形で表す。(2)「飲食禁止」は「飲んだり食べたりすることができない」と考え、You can'tにeat or drinkを続ける。(3)「写真にさわらないでください」は(2)と同様、You can'tを使って表すとよい。「写真にさわる」はtouch the photos。「写真展にある写真」を指しているので、photosには定冠詞theをつける。(4)「大声で話さないでください」は文の最初にPleaseがあるので、quiet「静かな」を使ってPlease be quiet.とbe動詞の命令文にする。

- ④ (1) A boy is playing basketball. / A boy is

practicing basketball. (2) Two women are eating ice cream. / Two women are talking. (3) A bike [bicycle] is by the tree. / A bike [bicycle] is under the tree.

英作力 UP (1)「1人の少年がバスケットボールをしています。」(2)「2人の女性がアイスクリームを食べています。」(3)「自転車が木のそばにあります。」ということを表す文を書く。(1)(2)は現在進行形(be動詞+動詞のing形)の文で表す。(1)「バスケットボールをする」はplay basketball。「バスケットボールを練習する」practice basketballを使った文にしてもよい。(2)「アイスクリームを食べる」はeat ice cream。絵の様子から「2人の女性が話している」という文にしてもよい。(3)は、自転車の位置について表す文を書く。絵よりby ~「~のそばに」が適切。また、under ~「~の下に」を使ってもよい。

- ⑤ Eighteen students have smartphones. Fourteen students don't have smartphones. One student has a mobile phone.

英作力 UP 3つの英文なので、それぞれスマートフォンを持っている生徒、持っていない生徒、携帯電話を持っている生徒について書く。「14」はfourteen。携帯電話を持つ生徒について書くときは、主語が三人称単数のone studentなので動詞はhasとする。

- ⑥ I went camping with my family. We made curry and rice for dinner. I got up early and watched the sunrise. It was very beautiful. I had a really good time.

英作力 UP まず質問への返答として「~した」という文を動詞の過去形を使って書く。2文目以降も、行った場所やしたことについて過去形の文で表す。be動詞の過去形の文はIt was beautiful。「それは美しかったです。」やI was happy。「私はうれしかったです。」I was tired。「私は疲れました。」など感想を述べる文で使うとよい。

